

令和 8 年度

# 参 考 図 書

事 業 名 : 公共下水道事業

工 事 場 所 : 竹原市 本町

工 事 名 : 本町地区下水道（面整備）工事 R8-3

建設リサイクル法 12 条 13 条対象

【添付書類】

総括情報表  
 工事費内訳表 施工単価表  
 数量計算書

等

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 50 竹原市 00-08.06.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 31 下水道工事 (2) 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費【補助】					X1000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	490	m3			単第0 -0001 表
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	290	m3			単第0 -0003 表
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	180	m3			単第0 -0005 表
管路埋戻					Y1101010102 レベル4
	1	式			

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	360	m3			単第0 -0007 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	180	m3			単第0 -0009 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	110	m3			単第0 -0010 表
発生土処理 現場 仮置場					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	490	m3			単第0 -0011 表
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	290	m3			単第0 -0013 表
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	180	m3			単第0 -0015 表
発生土処理 仮置場 処分場					Y1101010103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	240	m3			単第0 -0016 表

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)	240	m3			SPK25040002 00  単第0 -0017 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 土砂	240	m3			T9003 00
埋戻土運搬 仮置場 現場	1	式			Y1101010104レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	400	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)	400	m3			SPK25040002 00  単第0 -0018 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	210	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)	210	m3			SPK25040002 00  単第0 -0019 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	120	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)	120	m3			SPK25040002 00  単第0 -0019 表
管布設工	1	式			Y11010102 レベル3
リブ付硬質塩化ビニル管 【 200】	643.2	m			Y1101010205 レベル4
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 管径 200mm	643.2	m			SG1D0700002 00  単第0 -0020 表
伸縮可とう継手(管)	30	箇所			Y1101010211 レベル4
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径200mm, ヒューム管径150mm	30	組			TH011042 00
埋設標識テープ	1	式			Y1101010216 レベル4
埋設標識シート 幅150mm×長50m, シングル 上下水道用	12.9	巻			TH011286 00
管基礎工	1	式			Y11010103 レベル3

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
碎石基礎 【RC-40】					Y1101010302レベル4
	1	式			
碎石基礎工(機械施工)					SG1D0020002 00
	222	m3			単第0 -0021 表
管路土留工					Y11010105 レベル3
	1	式			
軽量鋼矢板土留					Y1101010503レベル4
	1	式			
軽量鋼矢板建込工(両側分)					SG1D0033001 00
	28.3	m			単第0 -0022 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	28.3	m			単第0 -0023 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)					SG1D0033001 00
	65.6	m			単第0 -0025 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	65.6	m			単第0 -0023 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)					SG1D0033001 00
	50.8	m			単第0 -0026 表

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	50.8	m			単第0 -0023 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)					SG1D0033001 00
	257.8	m			単第0 -0027 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	257.8	m			単第0 -0028 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)					SG1D0033001 00
	69.5	m			単第0 -0029 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	69.5	m			単第0 -0028 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)					SG1D0033001 00
	18.4	m			単第0 -0030 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	18.4	m			単第0 -0028 表
軽量鋼矢板損料・修理費及び損耗費 補助					V000000100 00
	1	式			単第0 -0031 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	448.9	m			単第0 -0032 表

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	448.9	m			単第0 -0033 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	41.5	m			単第0 -0034 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	41.5	m			単第0 -0035 表
支保工賃料及び基本料 補助					V00000200 00
	1	式			単第0 -0036 表
開削水替工					Y11010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1101010901 レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	34	日			単第0 -0037 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	4	現場			単第0 -0039 表
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール工 開削	1	式			Y11010202 レベル3
組立0号マンホール	9	箇所			Y1101020201 レベル4
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×300	1	個			TH003034 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450	7	個			TH003036 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×600	1	個			TH003038 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×600	1	個			TH003052 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×900	1	個			TH003054 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1200	4	個			TH003056 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1500	3	個			TH003058 00

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形0号(内径750)1種 底版	9	個			TH003062 00
マンホール付属品 調整リング 600×50	4	個			TH003098 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	1	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	4	個			TH003102 00
マンホール付属品 調整金具 調整高25mmまで	4	組			TH003104 00
マンホール付属品 調整金具 調整高45mmまで	4	組			TH003106 00
下水道用マンホールふた 有効径 600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-14	9	組			TH003184 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径150用	3	個所			TH003128 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径200用	12	個所			TH003130 00

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
底部工(組立式)(組立0号マンホール)					SG1D0052001 00
	9	箇所			単第0 -0040 表
組立0号マンホール 0号(内径750mm),楕円 深さ2m以下					SG1D0052002 00
	9	箇所			単第0 -0043 表
組立1号マンホール					Y1101020202レベル4
	4	箇所			
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×600					TH003068 00
	4	個			
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1200					TH003090 00
	4	個			
円形1号(内径900)I種 底版 H=130					TH003096 00
	4	個			
マンホール付属品 調整リング 600×50					TH003098 00
	1	個			
マンホール付属品 調整リング 600×100					TH003100 00
	2	個			
マンホール付属品 調整リング 600×150					TH003102 00
	1	個			

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール付属品 調整金具 調整高25mmまで	4	組			TH003104 00
下水道用マンホールふた 有効径 600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-14	4	組			TH003184 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径150用	2	個所			TH003128 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径200用	8	個所			TH003130 00
転落防止はしご 600用	1	個			F0000000058 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	4	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0044 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	4	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0046 表
小型マンホール工	1	式			Y11010203 レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)	27	箇所			Y1101020301 レベル4

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm~200mm	27	箇所			SG1D0057001 00  単第0 -0047 表
鋳鉄製マンホール蓋 300 T-14	24	組			F0000000054 00
鋳鉄製マンホール蓋 300 T-8	3	組			F0000000060 00
自在曲管 200×0°	18	個			F0000000063 00
異径ソケット 200- 150	6	個			F0000000057 00
塩ビ人孔用支管 200	9	個			F0000000064 00
取付管およびます工	1	式			Y110104 レベル2
管路土工	1	式			Y11010401 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101040101 レベル4

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	140	m3			単第0 -0001 表
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	35	m3			単第0 -0003 表
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	31	m3			単第0 -0005 表
管路埋戻					Y1101040102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	100	m3			単第0 -0007 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	22	m3			単第0 -0009 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	20	m3			単第0 -0010 表
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	36	m3			単第0 -0048 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	11	m3			単第0 -0049 表

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	9	m3			単第0 -0050 表
発生土処理 現場 仮置場					Y1101040103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	140	m3			単第0 -0011 表
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	35	m3			単第0 -0013 表
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	31	m3			単第0 -0015 表
発生土処理 仮置場 処分場					Y1101040103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	49	m3			単第0 -0016 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	49	m3			単第0 -0017 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
費目・工種・施工名称など 投棄料 土砂					T9003 00
	49	m3			
埋戻土運搬 仮置場 現場					Y1101040104レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	110	m3			単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)					SPK25040002 00
	110	m3			単第0 -0018 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	24	m3			単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)					SPK25040002 00
	24	m3			単第0 -0019 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	22	m3			単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)					SPK25040002 00
	22	m3			単第0 -0019 表
ます設置工					Y11010402 レベル3
	1	式			

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ます(塩化ビニル製)					Y1101040202レベル4
	95	箇所			
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm					SG1D0088004 00
	95	箇所			単第0 -0051 表
取付管布設工					Y11010403 レベル3
	1	式			
取付管(硬質塩化ビニル管)					Y1101040302レベル4
	95	箇所			
取付管布設および支管取付工 管径 150mm					SG1D0089002 00
	55	箇所			単第0 -0052 表
取付管布設および支管取付工 管径 150mm					SG1D0089002 00
	37	箇所			単第0 -0053 表
取付管布設および支管取付工 管径 150mm					SG1D0089002 00
	3	箇所			単第0 -0054 表
付帯工					Y110106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y11010601 レベル3
	1	式			

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断					Y1101060101レベル4
	1,505	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK25040307 00
	328	m			単第0 -0055 表
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下					SPK25040307 00
	94	m			単第0 -0056 表
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下					SPK25040307 00
	1,083	m			単第0 -0057 表
舗装版破碎					Y1101060102レベル4
	725	m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK25040306 00
	162	m2			単第0 -0058 表
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK25040306 00
	45	m2			単第0 -0059 表
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等無し 舗装版厚15cmを超え35cm以下					SPK25040306 00
	518	m2			単第0 -0060 表
殻運搬処理					Y1101060105レベル4
	111	m3			

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	8	m3			SPK25040155 00  単第0 -0061 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	103	m3			SPK25040155 00  単第0 -0062 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	19	t			T9006 00
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	242	t			T9005 00
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	724	m2			Y1101060402レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	679	m2			SPK25040235 00  単第0 -0063 表
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚170mm 1層施工 RC-40	45	m2			SPK25040235 00  単第0 -0064 表

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部)	679	m2			Y1101060404 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚120mm 1層施工	679	m2			SPK25040237 00  単第0 -0065 表
表層(車道・路肩部)	725	m2			Y1101060408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	725	m2			SPK25040244 00  単第0 -0066 表
ブロック舗装(特殊ブロック)	138	m2			Y1101060411 レベル4
自然石再利用 石畳付着物撤去清掃	138	m2			V000001000 00  単第0 -0067 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員 開削	443	人			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	443	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
事業損失防止施設費					Z0002
事業損失防止施設費	1	式			YZZ02 レベル2
事業損失防止施設費	1	式			YZZ02001 レベル3
家屋調査費	1	式			YZZ02001001 レベル4
事前調査(建物等の調査) 木造建物A	73	棟			V000001300 00  単第0 -0068 表
役務費					Z0003

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
役務費	1	式			YZZ03 レベル2
役務費	1	式			YZZ03001 レベル3
借地料 土地の借上げ等に要する費用	1	式			YZZ03001001 レベル4
借地料 47,900 (円/m <sup>2</sup> ) × 0.06 × 8/12 × 200 (m <sup>2</sup> )	1	式			F0000000051 00
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費 開削	13.8	t			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00  単第0 -0069 表

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
技術管理費	1	式			YZZ06001006 レベル4
施工調査費 開削	1	式			YZZ06001006 レベル4
本管テレビカメラ調査 直視側視式 小中口径管	643.2	m			V000000600 00 単第0 -0072 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					

# 本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
**工事原価**					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**工事費**					

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費【単独】					X2000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	84	m3			単第0 -0001 表
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	28	m3			単第0 -0003 表
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	40	m3			単第0 -0005 表
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	30	m3			単第0 -0005 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路埋戻					Y1101010102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	64	m3			単第0 -0007 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	18	m3			単第0 -0009 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	26	m3			単第0 -0010 表
人力投入埋戻工					SG1D0002001 00
	16	m3			単第0 -0076 表
発生土処理 現場 仮置場					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	84	m3			単第0 -0011 表
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	28	m3			単第0 -0013 表
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	40	m3			単第0 -0015 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	30	m3			単第0 -0015 表
発生土処理 仮置場 処分場					Y1101010103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	43	m3			単第0 -0016 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	43	m3			単第0 -0017 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 土砂					T9003 00
	43	m3			
埋戻土運搬					Y1101010104レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	72	m3			単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)					SPK25040002 00
	72	m3			単第0 -0018 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	20	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)	20	m3			SPK25040002 00  単第0 -0019 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	28	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)	28	m3			SPK25040002 00  単第0 -0019 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	18	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表
土砂等運搬 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離0.5km以下(0.3km超)	18	m3			SPK25040002 00  単第0 -0077 表
管布設工	1	式			Y11010102 レベル3
リップ付硬質塩化ビニル管 【 200】	136.3	m			Y1101010205 レベル4
リップ付硬質塩化ビニル管設置工 管径 200mm	127.6	m			SG1D0700002 00  単第0 -0020 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
リップ付硬質塩化ビニル管設置工 管径 150mm	8.8	m			SG1D0700002 00  単第0 -0078 表
伸縮可とう継手(管)	6	箇所			Y1101010211レベル4
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径200mm, ヒューム管径150mm	5	組			TH011042 00
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径150mm	1	組			TH011040 00
埋設標識テープ	1	式			Y1101010216レベル4
埋設標識シート 幅150mm×長50m, シングル 上下水道用	2.7	巻			TH011286 00
管基礎工	1	式			Y11010103 レベル3
碎石基礎 【RC-40】	1	式			Y1101010302レベル4
碎石基礎工(機械施工)	32	m3			SG1D0020002 00  単第0 -0021 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砕石基礎工(人力施工)	9	m3			SG1D0020001 00  単第0 -0079 表
管路土留工	1	式			Y11010105 レベル3
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1101010503 レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	22.0	m			SG1D0033001 00  単第0 -0026 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	22.0	m			SG1D0033002 00  単第0 -0023 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)	42.0	m			SG1D0033001 00  単第0 -0027 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	42.0	m			SG1D0033002 00  単第0 -0028 表
軽量鋼矢板損料・修理費及び損耗費 単独	1	式			V000000300 00  単第0 -0080 表
土留支保工(軽量金属支保工)	22.0	m			SG1D0033008 00  単第0 -0032 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	22.0	m			単第0 -0033 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	42.0	m			単第0 -0034 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	42.0	m			単第0 -0035 表
支保工賃料及び基本料 単独					V000000400 00
	1	式			単第0 -0081 表
開削水替工					Y11010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1101010901 レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	18	日			単第0 -0037 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	4	現場			単第0 -0039 表
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工					Y11010203 レベル3
	1	式			
小型マンホール(塩化ビニル製)					Y1101020301 レベル4
	9	箇所			
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm~200mm					SG1D0057001 00
	9	箇所			単第0 -0047 表
鋳鉄製マンホール蓋 300 T-14					F0000000054 00
	7	組			
硬質塩化ビニル製ふた 300					F0000000061 00
	2	組			
自在曲管 200×0°					F0000000063 00
	4	個			
異径ソケット 200- 150					F0000000057 00
	10	個			
塩ビ人孔用支管 200					F0000000064 00
	6	個			
取付管およびます工					Y110104 レベル2
	1	式			

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土工	1	式			Y11010401 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101040101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	15	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001 表
機械掘削工(小型バックホウ)	6	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0003 表
機械掘削工(小型バックホウ)	5	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0005 表
機械掘削工(小型バックホウ)	8	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0005 表
管路埋戻	1	式			Y1101040102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	12	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0007 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	4	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0009 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	3	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0009 表
人力投入埋戻工	4	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0076 表
機械投入埋戻工(バックホウ)	3	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0048 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	2	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0049 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	2	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0049 表
人力投入埋戻工	3	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0082 表
発生土処理 現場 仮置場	1	式			Y1101040103レベル4
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	15	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0011 表
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	6	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0013 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	5	m3			単第0 -0015 表
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	8	m3			単第0 -0015 表
発生土処理 仮置場 処分場					Y1101040103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	8	m3			単第0 -0016 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	8	m3			単第0 -0017 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 土砂					T9003 00
	8	m3			
埋戻土運搬					Y1101040104レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	13	m3			単第0 -0016 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)	13	m3			SPK25040002 00  単第0 -0018 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	4	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)	4	m3			SPK25040002 00  単第0 -0019 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	4	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)	4	m3			SPK25040002 00  単第0 -0019 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	4	m3			SPK25040007 00  単第0 -0016 表
土砂等運搬 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離0.5km以下(0.3km超)	4	m3			SPK25040002 00  単第0 -0077 表
ます設置工	1	式			Y11010402 レベル3
ます(塩化ビニル製)	22	箇所			Y1101040202レベル4

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ます設置工 (塩化ビニル製) ます径 200mm	22	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0051 表
取付管布設工	1	式			Y11010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	22	箇所			Y1101040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	17	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0052 表
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	5	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0053 表
付帯工	1	式			Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	304	m			Y1101060101レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	21	m			SPK25040307 00 単第0 -0055 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	90	m			SPK25040307 00  単第0 -0056 表
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下	193	m			SPK25040307 00  単第0 -0057 表
舗装版破碎	141	m2			Y1101060102レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	10	m2			SPK25040306 00  単第0 -0058 表
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	36	m2			SPK25040306 00  単第0 -0059 表
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等無し 舗装版厚15cmを超え35cm以下	95	m2			SPK25040306 00  単第0 -0060 表
殻運搬処理	23	m3			Y1101060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	1	m3			SPK25040155 00  単第0 -0061 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	22	m3			SPK25040155 00  単第0 -0062 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	1	t			T9006 00
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	51	t			T9005 00
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	142	m2			Y1101060402 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	106	m2			SPK25040235 00 単第0 -0063 表
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚170mm 1層施工 RC-40	36	m2			SPK25040235 00 単第0 -0064 表
上層路盤(車道・路肩部)	106	m2			Y1101060404 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚120mm 1層施工	106	m2			SPK25040237 00 単第0 -0065 表

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部)	142	m2			Y1101060408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	142	m2			SPK25040244 00 単第0 -0066 表
ブロック舗装(特殊ブロック)	33	m2			Y1101060411 レベル4
自然石再利用 石畳付着物撤去清掃	33	m2			V000001000 00 単第0 -0067 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員 開削	122	人			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	122	人			R0369 00

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
事業損失防止施設費					Z0002
事業損失防止施設費					YZZ02 レベル2
	1	式			
事業損失防止施設費					YZZ02001 レベル3
	1	式			
家屋調査費					YZZ02001001 レベル4
	1	式			
事前調査(建物等の調査) 木造建物A					V000001300 00
	22	棟			単第0 -0068 表
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬費 開削	4.2	t			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0083 表
準備費					Z0005
準備費	1	式			YZZ05 レベル2
準備費	1	式			YZZ05001 レベル3
試験掘	1	式			YZZ05001001 レベル4
試験掘	1	式			V000000500 00 単第0 -0086 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	18	t			T9006 00

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
技術管理費	1	式			YZZ06001006 レベル4
施工調査費 開削	1	式			YZZ06001006 レベル4
本管テレビカメラ調査 直視側視式 小中口径管	136.3	m			V000000600 00  単第0 -0072 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					

# 本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					
** 工事費計 **					















# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0007 表

頁0 -0052

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0008 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

# 施工単価表

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0008 表

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0009 表

頁0 -0054

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0004 表 100/65
タンバ締固め	100	m3			単第0-0008 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3			B=6 材料別途		

# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0010 表

頁0 -0055

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
小型バックホウ運転 112_標準型 排1 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.754	日			単第0-0006 表 100/57
タンバ締固め	100	m3			単第0-0008 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.08m3			B=6 材料別途		











# 施工単価表

積込(ルーズ)

SPK25040007

単第0 -0016 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 42.39%

労務構成比:

38.74%

材料構成比:

18.87%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

240.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	42.39%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	38.74%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.87%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0017 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

758.59000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0018 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

953.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=5 距離1.0km以下(0.2km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0019 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離1.0km以下(0.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.25% 労務構成比:

71.03% 材料構成比: 8.72%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,661.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=6 距離1.0km以下(0.3km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=2 DID区間有り		





# 施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0022 表

頁0 -0067

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	11.6	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=2 掘削深	2.0m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0023 表

頁0 -0068

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0024 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 BH山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=2	掘削深 2.0m以下	



# 施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0025 表

頁0 -0070

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.8	日			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 山積0.13m3			B=2 掘削深	2.0m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0026 表

頁0 -0071

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
小型バックホウ運転 112_標準型 排1 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.8	日			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 山積0.08m3			B=2 掘削深	2.0m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0027 表

頁0 -0072

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	7.2	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	12.5	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=3 掘削深	2.5m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0028 表

頁0 -0073

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.5	時間			単第0-0024 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 BH山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=3 掘削深	2.5m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0029 表

頁0 -0074

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	7.2	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.9	日			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 山積0.13m3			B=3 掘削深	2.5m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0030 表

頁0 -0075

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	7.2	人			
小型バックホウ運転 112_標準型 排1 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.9	日			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 山積0.08m3			B=3 掘削深	2.5m以下	





















# 施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0041 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 36.06%

材料構成比: 63.94%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

34,148.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	63.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		







# 施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0045 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68%

材料構成比: 71.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		





# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0048 表

頁0 -0093

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	133.000	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0008 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=133 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0049 表

頁0 -0094

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	133.000	m3			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0004 表 100/65
タンバ締固め	100	m3			単第0-0008 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3 D=133 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			B=2 再生砂		

# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0050 表

頁0 -0095

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	133.000	m3			
小型バックホウ運転 112_標準型 排1 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.754	日			単第0-0006 表 100/57
タンバ締固め	100	m3			単第0-0008 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.08m3 D=133 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			B=2 再生砂		









# 施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0055 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0056 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 13.11%

労務構成比:

50.94%

材料構成比: 35.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,264.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	8.92%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0057 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下

1

m 当り

機械構成比: 10.52%

労務構成比:

38.34%

材料構成比:

51.14%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,232.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径 75cm	7.16%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径 75cm		MTPC00057 MTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	13.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	5.86%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)	23.06%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)		TTPC00016 TTPT00016
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	15.81%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径35cm(14インチ)	9.67%		コンクリートカッターブレード 径14インチ		TTPC00344 TTPT00344



# 施工単価表

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0058 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 12.85%

労務構成比:

81.24%

材料構成比:

5.91%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0059 表

コンクリート舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 12.85%

労務構成比:

81.24%

材料構成比:

5.91%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 F=1 コンクリート舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

# 施工単価表

頁0 -0108

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0060 表

コンクリート舗装版

障害等無し 舗装版厚15cmを超え35cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 20.16%

労務構成比:

73.90%

材料構成比:

5.94%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

820.47000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	11.62%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
<賃>油圧ブレーカ 0.4m3対応,アタッチメントのみ	7.96%		大型ブレーカ(油圧ブレーカ) バケット容量0.4m3級 アタッチメントのみ		KTPC00069 KTPT00069
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	29.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	26.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	15.60%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.77%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 44.05% 労務構成比: 39.87%

SPK25040155

DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)

材料構成比: 16.08%

単第0 -0061 表

1

m3 当り

標準単価:

2,923.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=26 運搬距離6.0km以下(3.5km超)		

# 施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0062 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,527.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

# 施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0063 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72% 労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0063 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 40~0mm	74.21%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0064 表

全仕上り厚170mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72% 労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0064 表

全仕上り厚170mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 40~0mm	74.21%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=170 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):170.000(mm)					

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0065 表

RM-40

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0065 表

RM-40

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57% 労務構成比:

37.08% 材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 40~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00009 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 H=1 RM-40 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0066 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0066 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					





















# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0077 表

現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離0.5km以下(0.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03%

材料構成比: 8.72%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,827.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 現場制約あり C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=4 距離0.5km以下(0.3km超)			B=7 人力 D=2 DID区間有り		

















# 施工単価表

試験掘

V000000500

単第0 -0086 表

頁0 -0139

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下	72	m			単第0-0057 表
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等無し 舗装版厚15cmを超え35cm以下	27	m2			単第0-0060 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	8	m3			単第0-0062 表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	33	m3			単第0-0087 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	34	m3			単第0-0088 表
土砂等運搬(購入土運搬) 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離5.5km以下(4.5km超)	5	m3			単第0-0089 表
購入土砂 ほぐし土量	6	m3			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	27	m2			単第0-0063 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚120mm 1層施工	27	m2			単第0-0065 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	27	m2			単第0-0066 表
*** 単位当り ***	1	式			

# 施工単価表

掘削

SPK25040001

単第0 -0087 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 26.01% 労務構成比:

62.89%

材料構成比: 11.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,241.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0088 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

労務構成比:

87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,063.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		



# 施工単価表

土砂等運搬（購入土運搬）  
 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

SPK25040002  
 DID区間有り 距離5.5km以下(4.5km超)

単第0 -0089 表

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90% 材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

1  
 標準単価:

m3 当り  
 2,097.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26 距離5.5km以下(4.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

## 管路（開削、補助）総括表

【補助】φ200

**設 計 数 量 総 括 表**

開削工(土工)

費目 1	工種 2	種別 3	細別 4	規 格	形 状 寸 法	単 位	数 量				計	設計 数量	摘 要
							Aブロック	Bブロック	Fブロック	Gブロック			
				管路(開削、補助)									
				管きよ工(開削)									
				管路土工									
				管路掘削									
				機械掘削	バックホウ0.28m3	m3	—	223.3	—	267.5	490.8	490	
				機械掘削	バックホウ0.13m3	m3	48.4	—	187.6	58.7	294.6	290	
				機械掘削	バックホウ0.08m3	m3	180.8	—	—	—	180.8	180	
				人力掘削		m3	—	—	—	—	—	0	
				管路埋戻し									
				機械埋戻	バックホウ0.28m3 流用土	m3	—	160.4	—	197.7	358.1	360	
				機械埋戻	バックホウ0.13m3 流用土	m3	29.9	—	129.1	25.6	184.6	180	
				機械埋戻	バックホウ0.08m3 流用土	m3	111.5	—	—	—	111.5	110	
				人力埋戻	流用土	m3	—	—	—	—	—	0	
				発生土処理									
				土砂運搬	BH0.28m3+DT4t L=0.5km	m3	—	223.3	—	267.5	490.8	490	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	—	178.2	—	219.6	397.9	400	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	—	178.2	—	219.6	397.9	400	仮置場→現場
				土砂運搬	BH0.13+DT2t L=0.5km	m3	48.4	—	187.6	58.7	294.6	290	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	33.2	—	143.4	28.4	205.1	210	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	33.2	—	143.4	28.4	205.1	210	仮置場→現場
				土砂運搬	BH0.08+DT2t L=0.5km	m3	180.8	—	—	—	180.8	180	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	123.9	—	—	—	123.9	120	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	123.9	—	—	—	123.9	120	仮置場→現場
				土砂運搬	人力 L=0.5km	m3	—	—	—	—	—	0	現場→仮置場





**設 計 数 量 総 括 表**

開削工(組立1号マンホール)

費目 1	工種 2	種別 3	細別 4	規 格	形 状 寸 法	単 位	数 量				計	設 計 数 量	摘 要
							Aブロック	Bブロック	Fブロック	Gブロック			
				管路(開削、補助)									
				マンホール工									
				組立マンホール工									
				組立1号マンホール	開削区間全体(補助)	箇所	—	1	1	2	4	4	
				鉄蓋	φ600(枠共) T-25	組	—	—	—	—	—	0	
				鉄蓋	φ600(枠共) T-14	組	—	1	1	2	4	4	
				転落防止梯子		個	—	1	—	—	1	1	
				調整金具	25mm	個	—	1	1	2	4	4	
				調整金具	45mm	個	—	—	—	—	—	0	
				調整リング	50mm	個	—	—	—	1	1	1	
				調整リング	100mm	個	—	1	1	—	2	2	
				調整リング	150mm	個	—	—	—	1	1	1	
				1号マンホール 斜壁	900×600×300	個	—	—	—	—	—	0	
				1号マンホール 斜壁	900×600×450	個	—	—	—	—	—	0	
				1号マンホール 斜壁	900×600×600	個	—	1	1	2	4	4	
				1号マンホール 直壁ブロック	900×300	個	—	—	—	—	—	0	
				〃	900×600	個	—	—	—	—	—	0	
				1号マンホール く体ブロック	900×600	個	—	—	—	—	—	0	
				〃	900×900	個	—	—	—	—	—	0	
				〃	900×1200	個	—	1	1	2	4	4	
				〃	900×1500	個	—	—	—	—	—	0	
				〃	900×1800	個	—	—	—	—	—	0	
				1号マンホール付 底版	有効高130	個	—	1	1	2	4	4	
				底部工(組立式)	モルタル上塗0.74m2 インバートコン0.16m3	箇所	—	1	1	2	4	4	砕石0.95m2 t=15cm



# 設 計 数 量 総 括 表

開削工(組立0号マンホール)

費目 1	工種 2	種別 3	細別 4	規 格	形 状 寸 法	単 位	数 量				計	設計 数量	摘 要
							Aブロック	Bブロック	Fブロック	Gブロック			
				管路(開削、補助)									
				マンホール工									
				組立マンホール工									
				組立0号マンホール	開削区間全体(補助)	箇所	3	1	2	3	9	9	
				鉄蓋	φ600(枠共) T-25	組	-	-	-	-	-	0	
				鉄蓋	φ600(枠共) T-14	組	3	1	2	3	9	9	
				転落防止梯子		個	-	-	1	1	2	2	
				調整金具	25mm	個	2	-	-	2	4	4	
				調整金具	45mm	個	1	1	1	1	4	4	
				調整リング	50mm	個	1	-	1	2	4	4	
				調整リング	100mm	個	-	-	1	-	1	1	
				調整リング	150mm	個	2	1	-	1	4	4	
				0号マンホール 斜壁	750×600×300	個	1	-	-	-	1	1	
				0号マンホール 斜壁	750×600×450	個	2	-	2	3	7	7	
				0号マンホール 斜壁	750×600×600	個	-	1	-	-	1	1	
				0号マンホール 直壁ブロック	750×300	個	-	-	-	-	-	0	
				"	750×600	個	-	-	-	-	-	0	
				0号マンホール く体ブロック	750×600	個	1	-	-	-	1	1	
				"	750×900	個	-	1	-	-	1	1	
				"	750×1200	個	2	-	1	1	4	4	
				"	750×1500	個	-	-	1	2	3	3	
				"	750×1800	個	-	-	-	-	-	0	
				0号マンホール付 底版	有効高130	個	3	1	2	3	9	9	
				底部工(組立式)	モルタル上塗0.53m2 インパートコン0.11m3	箇所	3	1	2	3	9	9	砕石0.71m2 t=15cm





# 設 計 数 量 総 括 表

開削工(取付管)

費目 1	工種 2	種別 3	細別 4	規 格	形 状 寸 法	単 位	数 量				計	設計 数量	摘 要
							Aブロック	Bブロック	Fブロック	Gブロック			
管路(開削、補助)													
取付管およびます工													
管路土工													
管路掘削													
				機械掘削	バックホウ0.28m3	m3	—	54.9	—	86.8	141.7	140	
				機械掘削	バックホウ0.13m3	m3	8.2	—	23.3	3.2	34.7	35	
				機械掘削	バックホウ0.08m3	m3	30.7	—	—	—	30.7	31	
				人力掘削		m3	—	—	—	—	—	0	
管路埋戻し													
				機械埋戻	バックホウ0.28m3 流用土	m3	—	38.9	—	62.1	101.0	100	
				機械埋戻	バックホウ0.13m3 流用土	m3	5.4	—	14.6	1.9	21.9	22	
				機械埋戻	バックホウ0.08m3 流用土	m3	19.6	—	—	—	19.6	20	
				人力埋戻	流用土	m3	—	—	—	—	—	0	
				機械埋戻	バックホウ0.28m3 再生砂	m3	—	14.3	—	21.3	35.6	36	
				機械埋戻	バックホウ0.13m3 再生砂	m3	2.5	—	7.4	1.2	11.0	11	
				機械埋戻	バックホウ0.08m3 再生砂	m3	9.2	—	—	—	9.2	9	
				人力埋戻	再生砂	m3	—	—	—	—	—	0	
発生土処理													
				土砂運搬	BH0.28m3+DT4t L=0.5km	m3	—	54.9	—	86.8	141.7	140	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	—	43.3	—	69.0	112.3	110	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	—	43.3	—	69.0	112.3	110	仮置場→現場
				土砂運搬	BH0.13+DT2t L=0.5km	m3	8.2	—	23.3	3.2	34.7	35	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	6.0	—	16.2	2.1	24.3	24	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	6.0	—	16.2	2.1	24.3	24	仮置場→現場
				土砂運搬	BH0.08+DT2t L=0.5km	m3	30.7	—	—	—	30.7	31	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	21.8	—	—	—	21.8	22	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	21.8	—	—	—	21.8	22	仮置場→現場
				土砂運搬	人力 L=0.5km	m3	—	—	—	—	—	0	現場→仮置場



# 設 計 数 量 総 括 表

開削工(付帯工)

費目 1	工種 2	種別 3	細別 4	規 格	形 状 寸 法	単 位	数 量				計	設計 数量	摘 要
							Aブロック	Bブロック	Fブロック	Gブロック			
管路 (開削、補助)													
付帯工													
舗装撤去工													
舗装版切断													
				舗装版切断	アスファルト t =15cm以下	m	204.4	16.0	107.5	—	327.9	328	
					コンクリート t =15cm以下	m	—	—	—	93.8	93.8	94	
					コンクリート t =15cmを越え30cm以下	m	182.2	297.5	149.8	453.3	1082.9	1083	
舗装版破砕													
				舗装版破砕	黒いカ* 6-3-10	m2	—	—	16.7	118.1	134.7	135	
					自然石 6-3-10	m2	87.3	143.1	53.2	99.1	382.8	383	
					アスファルト t=5cm	m2	103.6	8.0	50.4	0.0	161.9	162	
					コンクリート t=10cm	m2	—	—	—	45.3	45.3	45	
					アスファルト t=10cm	m2	—	—	—	—	—	0	
					アスファルト t=4cm	m2	—	—	—	—	—	0	
殻運搬処理													
				殻運搬	アスファルト殻	m3	5.2	0.4	2.5	—	8.1	8	
					コンクリート殻	m3	16.6	27.2	13.3	45.8	102.9	103	
				処分費	アスファルト殻	t	12.2	0.9	5.9	—	19.0	19	
					コンクリート殻	t	39.0	63.9	31.2	107.7	241.7	242	
道路復旧工													
下層路盤													
				下層路盤	再生クラッシャーラン RC-40 t =10cm	m2	190.8	151.1	120.2	217.2	679.4	679	
				下層路盤	再生クラッシャーラン RC-40 t =17cm	m2	—	—	—	45.3	45.3	45	
上層路盤													
				上層路盤	粒調碎石 M-30 t =12cm	m2	190.8	151.1	120.2	217.2	679.3	679	







管布設工  
【Aブロック 補助】









付帯工  
【Aブロック 補助】









組立0号マンホール工  
【Aブロック 補助】

組立0号マンホール集計表

工種	種別	形状・寸法	数量	摘要	
材料	鉄蓋及び受枠	φ600, T-25	- 組		
		φ600, T-14	3.0 組		
	転落防止梯子		- 個		
	調整金具	25	2.0 個		
		45	1.0 個		
	調整リング	50	1.0 個		
		100	- 個		
		150	2.0 個		
	斜壁	750×600×300	1.0 個		
		750×600×450	2.0 個		
		750×600×600	- 個		
	直壁	750×300	- 個		
		750×600	- 個		
		750×900	- 個		
		750×1200	- 個		
		750×1500	- 個		
		750×1800	- 個		
		躯体ブロック	750×600	1.0 個	
			750×900	- 個	
	750×1200		2.0 個		
	750×1500		- 個		
	750×1800		- 個		
	底板	有効高130	3.0 個		
設置工	ブロック据付工	H=1.488m	3.0 箇所		
	砕石基礎工		3.0 箇所		
	インバート工		3.0 箇所		
	削孔工	PRP200		6.0 箇所	
		PRP150		1.0 箇所	
		VU150		箇所	
		VU100		箇所	
	副管設置工	内副管設置工	φ150 H=0.000m (平均)	- 箇所	
φ100 H=0.000m (平均)			- 箇所		



## 組立0号マンホール底部工

項目	細別	計 算 式	数 量
	碎石基礎工 (t=0.15m)	$A = \pi / 4 \times 0.95^2$	0.71 m <sup>2</sup>
	インバート工	(コンクリート) 18-8-40BB 下流管中心高 $h1 = 0.16 + 0.20 / 2 = 0.260$ 上流管中心高 $h2 = 0.16 + 0.02 + 0.20 / 2 = 0.280$ $V = \pi / 4 \times 0.75^2 \times (0.260 + 0.280) / 2$ $- \pi / 4 \times 0.20^2 \times 1 / 2 \times 0.75$	0.11 m <sup>3</sup>
		(モルタル上塗) 配合1:2 t=20mm $A = \pi / 4 \times 0.75^2 - 0.20 \times 0.75 + \pi \times 0.20 \times 1 / 2 \times 0.75$	0.53 m <sup>2</sup>

塩ビ製小型マンホール工  
【Aブロック 補助】





汚水枳及び取付管工  
【Aブロック 補助】

汚水樹及び取付管工数量集計表

種 別	単位	自然石 6-3-10-10	自然石 6-3-10-10	As 5-10-10	Co 10-10	As 4-7-11	As 3-10				合 計	備 考
		BH0.08 +2t	BH0.13 +2t	BH0.08 +2t	人力 +小車	人力 +小車	BH0.13 +2t					
汚水樹設置工	汚水樹	φ200-150×150	個	10	5	11					26	樹深 1.50m以下
取付管工	布設延長	φ150	m	24.90	12.40	22.20					59.50	(平均) 2.29m
	接続方法	マンホール接続(3.0m未満)	個	2		2					4	
		マンホール接続(3m以上5m未満)	個									
		マンホール接続(5m以上12m未満)	個									
		本管接続(3.0m未満)	個	5	4	9					18	
		本管接続(3m以上5m未満)	個	3	1						4	
		本管接続(5m以上12m未満)	個									
砂基礎工		m3	4.92	2.49	4.24					11.65		
舗装撤去工	舗装切断工	As 15cm以下	m			12.64					12.64	
		Co 15cm以下	m									
		Co 15cmを越え30cm以下	m	13.08	3.74						16.82	
舗装版破碎工 直接掘削積込工		黒いカ 6-3-10	m2									
		自然石 6-3-10	m2	4.91	1.40						6.31	
		As t=5cm	m2			4.74					4.74	
		Co t=10cm	m2									
		As t=10cm	m2									
	As t=4cm	m2										
土 工	掘削工		m3	17.16	8.19	13.53					38.88	
	埋戻工	発生土	m3	11.59	5.44	8.04					25.07	
	残土処分工		m3	4.28	2.15	4.60					11.03	
	残塊処分工	As	m3			0.24					0.24	
	Co	m3	0.93	0.27						1.20		
仮復旧工	表層工	密粒度アスコン t=5cm	m2									
	表層工	密粒度アスコン t=3cm	m2	4.91	1.40	4.74					11.05	
路盤	上層路盤	粒調砕石(M-30) t=12cm	m2	4.91	1.40	4.74					11.05	
	下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-30) t=10cm	m2	4.91	1.40	4.74					11.05	

**汚水樹及び取付管工数量計算書 (自然石 6-3-10-10) -1**

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.08+ 2t

路線 番号	取付 番号	取付 管延長 m	汚水 樹深 m	本管 平均 掘削 深 m	境界 高低 差 m	境界 土工 高 m	本管 流入 高 m	平均 掘削 深 m	舗装延長				摘 要	
									控除延長			舗装 延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2281	-1	32	3.10	1.60	1.88	0.14	1.46	1.49	1.58	0.48	1.00	0.56	1.06	本管接続
2281	-1	33	2.10	1.00	1.88	0.12	0.88	0.90	0.99	0.48	1.00	0.56	0.06	本管接続
2230	31	3.40	1.60	1.85	0.09	1.51	1.54	1.63		0.48	1.00		1.92	本管接続
2230	30	2.10	0.90	1.85	0.04	0.86	0.88	0.97		0.48	1.00	0.53	0.09	人孔接続
2230	29	3.00	1.50	1.77	0.03	1.47	1.50	1.59		0.48	1.00		1.52	本管接続
2230	28	2.20	0.90	1.66	0.08	0.82	0.84	0.93		0.48	1.00	0.53	0.19	本管接続
2230	27	2.90	1.50	1.66	0.18	1.32	1.35	1.44		0.48	1.00		1.42	本管接続
2230	26	2.20	0.80	1.66	-0.02	0.82	0.84	0.93		0.48	1.00	0.53	0.19	本管接続
2230	25	2.10	0.90	1.72	0.05	0.85	0.87	0.96		0.48	1.00	0.53	0.09	本管接続
2230	24	1.80	0.90	1.72	0.01	0.89	0.91	1.00		0.48	1.00	0.32	0.00	人孔接続
計	箇所	m						m	m	m	m	m	本管接続	8
	10	24.90						12.02	4.80	10.00	3.56	6.54	マンホール接続	2

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.08+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	12.02	÷	10			m	1.20	
舗装部 掘削延長						m	6.54	
未舗装部 掘削延長	10.00	+	3.56			m	13.56	
舗装切断工	6.54	×	2			m	13.08	
舗装版破碎工 Co 19cm	6.54	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	4.91	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.20 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.75				
	0.750 × (1.20 - 0.19) × 6.54 + 0.750 × 1.20 × 13.56					m <sup>3</sup>	17.16	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.75				
取付管延長 24.90 本管控除長 4.80	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (24.90 - 4.80)					m <sup>3</sup>	4.92	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.20 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.750				
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.750				
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.20 - 0.350			= 0.850				
	0.75 × (0.850 - 0.25) × 6.54 + 0.75 × 0.850 × 13.56					m <sup>3</sup>	11.59	
残土処分工	17.16	-	11.59	÷	0.90	m <sup>3</sup>	4.28	
残塊処分工 Co	4.91	×	0.19			m <sup>3</sup>	0.93	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	6.54	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.20	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.91	
上層路盤 t=12cm	6.54	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.20 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.91	
下層路盤 t=10cm	6.54	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.20 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.91	

**汚水樹及び取付管工数量計算書 (自然石 6-3-10-10) -1**

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

路線番号	取付番号	取付管延長 m	汚水樹深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長				摘要	
									控除延長			舗装延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2229	23	2.60	1.00	1.66	0.14	0.86	0.89	0.98	0.48	1.00	0.66	0.46	本管接続	
2229	22	3.10	1.40	1.66	0.04	1.36	1.39	1.48	0.48	1.00	0.71	0.91	本管接続	
2229	21	2.40	1.00	1.66	0.11	0.89	0.91	1.00	0.48	1.00	0.66	0.26	本管接続	
2229	20	2.00	1.20	1.32	0.28	0.92	0.94	1.03	0.40	1.00	0.60	0.00	本管接続	
2229	19	2.30	1.10	1.32	0.16	0.94	0.96	1.05	0.40	1.00	0.66	0.24	本管接続	
計	箇所 5	m 12.40						m 5.54	m 2.24	m 5.00	m 3.29	m 1.87	本管接続 マンホール接続	5

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	5.54	÷	5			m	1.11	
舗装部 掘削延長						m	1.87	
未舗装部 掘削延長	5.00	+	3.29			m	8.29	
舗装切断工	1.87	×	2			m	3.74	
舗装版破碎工 Co 19cm	1.87	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	1.40	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.11 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (1.11 - 0.19) × 1.87 + 0.750 × 1.11 × 8.29					m <sup>3</sup>	8.19	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 12.40 本管控除長 2.24	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (12.40 - 2.24)					m <sup>3</sup>	2.49	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.11 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.11 - 0.350		= 0.760					
	0.75 × (0.760 - 0.25) × 1.87 + 0.75 × 0.760 × 8.29					m <sup>3</sup>	5.44	
残土処分工	8.19	-	5.44	÷	0.90	m <sup>3</sup>	2.15	
残塊処分工 Co	1.40	×	0.19			m <sup>3</sup>	0.27	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	1.87	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.11	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.40	
上層路盤 t=12cm	1.87	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.11 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.40	
下層路盤 t=10cm	1.87	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.11 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.40	

## 汚水樹及び取付管工数量計算書 (As 5-10-10) -1

現況As 5cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.08+ 2t

路線番号	取付番号	取付管延長 m	汚水樹深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長				摘要	
									控除延長			舗装延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2228 -1	13	1.70	0.80	1.66	0.01	0.79	0.81	0.90	0.48	1.00		0.22	本管接続	
2228 -1	12	2.30	0.90	1.66	-0.29	1.19	1.21	1.30	0.48	1.00		0.82	本管接続	
2228 -1	11	2.20	0.80	1.66	-0.52	1.32	1.34	1.43	0.48	1.00		0.72	本管接続	
2228 -1	10	1.70	0.80	1.66	0.34	0.46	0.48	0.57	0.48	1.00		0.22	本管接続	
2228 -1	9	1.50	0.80	1.66	0.24	0.56	0.58	0.67	0.48	1.00		0.02	本管接続	
2228 -1	8	2.90	0.80	1.66	-0.98	1.78	1.81	1.90	0.48	1.00		1.42	人孔接続	
2228 -1	7	1.40	0.80	1.45	0.06	0.74	0.75	0.85	0.40	1.00		0.00	人孔接続	
2228 -1	6	2.60	1.30	1.47	0.16	1.14	1.17	1.26	0.40	1.00		1.20	本管接続	
2228 -1	5	2.50	1.20	1.47	0.07	1.13	1.16	1.25	0.40	1.00		1.10	本管接続	
2226	2	1.90	0.80	1.20	0.08	0.72	0.74	0.83	0.40	1.00		0.50	本管接続	
2226	4	1.50	0.80	1.20	0.25	0.55	0.57	0.66	0.40	1.00		0.10	本管接続	
計	箇所 11	m 22.20						m 11.62	m 4.88	m 11.00	m	m 6.32	本管接続 マンホール接続	9 2

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (As 5-10-10) -2

現況As 5cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.08+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	11.62	÷	11			m	1.06	
舗装部 掘削延長						m	6.32	
未舗装部 掘削延長	11.00	+	0.00			m	11.00	
舗装切断工	6.32	×	2			m	12.64	
舗装版破碎工 As 5cm	6.32	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	4.74	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.06 - 0.05)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (1.06 - 0.05) × 6.32	+	0.750 × 1.06 × 11.00			m <sup>3</sup>	13.53	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 22.20 本管控除長 4.88	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (22.20 - 4.88)					m <sup>3</sup>	4.24	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.06 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.06 - 0.350		= 0.710					
	0.75 × (0.710 - 0.25) × 6.32	+	0.75 × 0.710 × 11.00			m <sup>3</sup>	8.04	
残土処分工	13.53	-	8.04	÷	0.90	m <sup>3</sup>	4.60	
残塊処分工 As	4.74	×	0.05			m <sup>3</sup>	0.24	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	6.32	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.06	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.74	
上層路盤 t=12cm	6.32	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.06 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.74	
下層路盤 t=10cm	6.32	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.06 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.74	

積算資料／開削区間  
【Aブロック 補助】



### 工程日数算出表

設計条件		工 区		Aブロック補助			
		軽量鋼矢板	2.0 mH	掘削	BH 0.08 m3		
		支保工	1 段	砂基礎	BH 0.08 m3		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	75.46 m3		
		施工延長	50.80 m	砕石基礎工	17.22 m3		
		転用スパン	30.00 m	埋戻工	50.57 m3		
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.00 日 (下水歩掛P41) = 50.00 m/日				1.95	3.30
		30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日					
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 0.60 日 (下水歩掛P50) = 166.67 m/日					
		30.00 ÷ 166.67 m/日 = 0.18 日					
掘 削	75.46 m <sup>3</sup> ÷ 50.80 m × 30.00 m = 44.56 m <sup>3</sup>						
	44.56 m <sup>3</sup> ÷ 38.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 1.17 日						
土留工+掘削		= 1.95 日					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	17.22 m <sup>3</sup> ÷ 50.80 m × 30.00 m = 10.17 m <sup>3</sup>				0.78	1.30
		10.17 m <sup>3</sup> ÷ 57.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.18 日					
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		17.22 m <sup>3</sup> ÷ 50.80 m × 30.00 m = 10.17 m <sup>3</sup>					
管 布 設 工	10.17 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.15 日						
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日						
砕石基礎+管布設		30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日					
埋戻工		0.18 日 + 0.60 日 = 0.78 日					
c 工程	埋戻工 (機械投入)	50.57 m <sup>3</sup> ÷ 50.80 m × 30.00 m = 29.86 m <sup>3</sup>				0.52	0.90
		29.86 m <sup>3</sup> ÷ 57.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.52 日					
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		50.57 m <sup>3</sup> ÷ 50.80 m × 30.00 m = 29.86 m <sup>3</sup>					
埋戻工		29.86 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.45 日					
埋戻工		= 0.52 日					
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日				0.42	0.70
		30.00 m ÷ 111.11 m/日 = 0.27 日					
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 0.50 日 (下水歩掛P51) = 200.00 m/日					
		30.00 ÷ 200.00 m/日 = 0.15 日					
土留工+掘削		= 0.42 日					

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	50.8m ÷ 30m =	1.7 回 ≒	2 回
・ 土留賃料日数(30m)	(3.3+1/2×1.3+0.7) =	4.65 日	
・ 土留供用日数	1.7×4.65 =	7.9 日 ≒	8 日
・ 水替え日数	(1.95+max(0.52, 0.42))/2 =	1.2 日 × 1.7回 =	2.0 日 ≒ 2日
・ 交通整理員実日数	7.9 ÷ 1 =	7.9 日 ≒	8 日

### 工程日数算出表

設計条件		工 区		Aブロック補助			
		軽量鋼矢板	2.0 mH	掘削	BH 0.13 m3		
		支保工	1 段	砂基礎	BH 0.13 m3		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	18.04 m3		
		施工延長	12.80 m	砕石基礎工	4.09 m3		
		転用スパン	12.80 m	埋戻工	12.45 m3		
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.00 日 (下水歩掛P41) = 50.00 m/日				0.75	1.30
		12.80 m ÷ 50.00 m/日 = 0.26 日					
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 0.60 日 (下水歩掛P50) = 166.67 m/日					
		12.80 ÷ 166.67 m/日 = 0.08 日					
掘 削	18.04 m <sup>3</sup> ÷ 12.80 m × 12.80 m = 18.04 m <sup>3</sup>						
	18.04 m <sup>3</sup> ÷ 44.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 0.41 日						
土留工+掘削		= 0.75 日					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	4.09 m <sup>3</sup> ÷ 12.80 m × 12.80 m = 4.09 m <sup>3</sup>				0.32	0.50
		4.09 m <sup>3</sup> ÷ 65.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.06 日					
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		4.09 m <sup>3</sup> ÷ 12.80 m × 12.80 m = 4.09 m <sup>3</sup>					
管 布 設 工	4.09 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.06 日						
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日						
砕石基礎+管布設		12.80 m ÷ 50.00 m/日 = 0.26 日					
埋戻工		0.06 日 + 0.26 日 = 0.32 日					
c 工程	埋戻工 (機械投入)	12.45 m <sup>3</sup> ÷ 12.80 m × 12.80 m = 12.45 m <sup>3</sup>				0.19	0.30
		12.45 m <sup>3</sup> ÷ 65.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.19 日					
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		12.45 m <sup>3</sup> ÷ 12.80 m × 12.80 m = 12.45 m <sup>3</sup>					
埋戻工		12.45 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.19 日					
埋戻工		= 0.19 日					
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日				0.18	0.30
		12.80 m ÷ 111.11 m/日 = 0.12 日					
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 0.50 日 (下水歩掛P51) = 200.00 m/日					
		12.80 ÷ 200.00 m/日 = 0.06 日					
土留工+掘削		= 0.18 日					

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	12.8m ÷ 12.8m =	1 回 ≒	1 回
・ 土留賃料日数(30m)	(1.3+1/2×0.5+0.3) =	1.85 日	
・ 土留供用日数	1×1.85 =	1.9 日 ≒	2 日
・ 水替え日数	(0.75+max(0.19, 0.18))/2 =	0.5 日 × 1.0回 =	0.5 日 ≒ 1日
・ 交通整理員実日数	1.9 ÷ 1 =	1.9 日 ≒	2 日

### 工程日数算出表

設計条件		工 区		Aブロック補助			
		軽量鋼矢板	2.5 mH	掘削	BH 0.08 m3		
		支保工	1 段	砂基礎	BH 0.08 m3		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	29.35 m3		
		施工延長	18.40 m	砕石基礎工	6.00 m3		
		転用スパン	18.40 m	埋戻工	21.31 m3		
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.40 日 (下水歩掛P41) = 41.67 m/日				1.32	2.20
		18.40 m ÷ 41.67 m/日 = 0.44 日					
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 0.60 日 (下水歩掛P50) = 166.67 m/日					
		18.40 ÷ 166.67 m/日 = 0.11 日					
掘 削	29.35 m <sup>3</sup> ÷ 18.40 m × 18.40 m = 29.35 m <sup>3</sup>						
	29.35 m <sup>3</sup> ÷ 38.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 0.77 日						
土留工+掘削		= 1.32 日					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	6.00 m <sup>3</sup> ÷ 18.40 m × 18.40 m = 6.00 m <sup>3</sup>				0.48	0.80
		6.00 m <sup>3</sup> ÷ 57.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.11 日					
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ <sup>3</sup> 締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		6.00 m <sup>3</sup> ÷ 18.40 m × 18.40 m = 6.00 m <sup>3</sup>					
管 布 設 工	6.00 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.09 日						
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日						
砕石基礎+管布設		18.40 m ÷ 50.00 m/日 = 0.37 日					
埋戻工		0.11 日 + 0.37 日 = 0.48 日					
c 工程	埋戻工 (機械投入)	21.31 m <sup>3</sup> ÷ 18.40 m × 18.40 m = 21.31 m <sup>3</sup>				0.37	0.60
		21.31 m <sup>3</sup> ÷ 57.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.37 日					
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ <sup>3</sup> 締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		21.31 m <sup>3</sup> ÷ 18.40 m × 18.40 m = 21.31 m <sup>3</sup>					
埋戻工		21.31 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.32 日					
埋戻工		= 0.37 日					
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日				0.26	0.40
		18.40 m ÷ 111.11 m/日 = 0.17 日					
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 0.50 日 (下水歩掛P51) = 200.00 m/日					
		18.40 ÷ 200.00 m/日 = 0.09 日					
土留工+掘削		= 0.26 日					

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	18.4m ÷ 18.4m =	1 回	≒	1 回
・ 土留賃料日数(30m)	(2.2+1/2×0.8+0.4) =	3.00 日		
・ 土留供用日数	1×3 =	3.0 日	≒	3 日
・ 水替え日数	(1.32+max(0.37, 0.26))/2 =	0.8 日	× 1.0回 =	0.8 日 ≒ 1日
・ 交通整理員実日数	3 ÷ 1 =	3.0 日	≒	3 日

工程日数算出表

設計条件	工 区		Aブロック補助			
	掘	管種管径	PRP200 mm	掘削 BH	0.08 m <sup>3</sup>	
素掘	施工延長	67.10 m	砂基礎 BH	0.08 m <sup>3</sup>		
			機械掘削工	75.97 m <sup>3</sup>		
			砕石基礎工	19.65 m <sup>3</sup>		
			埋戻工	39.64 m <sup>3</sup>		
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	掘 削	75.97 m <sup>3</sup> ÷ 38.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 2.00 日			2	3.40
		= 2.00 日				
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	19.65 m <sup>3</sup> ÷ 57.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.34 日			1.94	3.30
	砕石基礎工(転圧作業)	タンバ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日				
		19.65 m <sup>3</sup> ÷ 33.00 m <sup>3</sup> /日 = 0.60 日				
	管 布 設 工	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛参H25, P4) = 50.00 m/日				
67.10 m ÷ 50.00 m/日 = 1.34 日						
砕石基礎+管布設		0.60 日 + 1.34 日 = 1.94 日				
c 工程	埋戻工 (機械投入)	39.64 m <sup>3</sup> ÷ 57.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.70 日			1.2	2.00
	埋戻工 (転圧作業)	タンバ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日				
		39.64 m <sup>3</sup> ÷ 33.00 m <sup>3</sup> /日 = 1.20 日				
埋戻工		= 1.20 日				
d 工程						

※) a 工程 : 掘削とする

b 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

c 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。

算定結果

・ 施工日数	(3.4+3.3+2) =	8.70 日	≒	9 日
・ 水替え日数	1/2×2+1.94+1/2×1.2	3.54 日	≒	4 日
・ 交通整理員実日数	8.7 ÷ 1 =	8.7 日	≒	9 日

工程日数算出表

設計条件 素掘	工 区		Aブロック補助				
			掘削	BH	0.13	m <sup>3</sup>	
			砂基礎	BH	0.13	m <sup>3</sup>	
	管種管径	PRP200 mm	機械掘削工		30.35	m <sup>3</sup>	
	施工延長	29.50 m	砕石基礎工		8.57	m <sup>3</sup>	
			埋戻工		17.45	m <sup>3</sup>	
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	掘 削					0.69	1.20
		$30.35 \text{ m}^3 \div 44.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P16}) = 0.69 \text{ 日}$ $= 0.69 \text{ 日}$					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	$8.57 \text{ m}^3 \div 65.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P20}) = 0.13 \text{ 日}$				0.85	1.40
	砕石基礎工(転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 33.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{共通編PI-147}) = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$					
		$8.57 \text{ m}^3 \div 33.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.26 \text{ 日}$					
	管 布 設 工	$10.00 \text{ m} \div 0.20 \text{ 人} (\text{下水歩掛参H25, P4}) = 50.00 \text{ m}/\text{日}$ $29.50 \text{ m} \div 50.00 \text{ m}/\text{日} = 0.59 \text{ 日}$					
砕石基礎+管布設		$0.26 \text{ 日} + 0.59 \text{ 日} = 0.85 \text{ 日}$					
c 工程	埋戻工 (機械投入)	$17.45 \text{ m}^3 \div 65.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P20}) = 0.27 \text{ 日}$				0.53	0.90
	埋戻工 (転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 33.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{共通編PI-147}) = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$					
		$17.45 \text{ m}^3 \div 33.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.53 \text{ 日}$					
埋戻工		$= 0.53 \text{ 日}$					
d 工程							

※) a 工程 : 掘削とする

b 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

c 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。

算定結果

・ 施工日数	$(1.2+1.4+0.9) =$	3.50 日	≧	4 日
・ 水替え日数	$1/2 \times 0.69 + 0.85 + 1/2 \times 0.53$	1.46 日	≧	2 日
・ 交通整理員実日数	$3.5 \div 1 =$	3.5 日	≧	4 日

管布設工  
【Bブロック 補助】φ200







付帯工  
【Bブロック 補助】φ200



舗装復旧工数量計算書

路線番号	人孔番号	路線延長	掘削幅	掘削勾配	掘削深	平均掘削深	掘削時表層厚		復旧時表層厚	上層路盤厚	下層路盤厚	路盤鋤取厚	舗装切断回数	復旧幅				下層路盤下幅	上層路盤下幅	表層下幅	掘削上幅	舗装切断 (掘削分)	舗装取壊			仮復旧	路盤鋤取	下層路盤	上層路盤	舗装復旧	残土処理		備考		
							As	Co or 黒 or 自然石						(左)	平均幅	(右)	平均幅						(全幅)	全体	掘削部						影響部	土砂			
							m	m						m	m	m	m						m	m	m						m	m		m	m
2290	既M-6~ M-1	4.50	1.00		1.92 1.98	1.95	0.05		0.03	0.12	0.10		2																						0.28m3 As 5-10-10
2290	M-1~ M-1+3.5m	3.50	1.00		1.98 1.98	1.98	0.05		0.03	0.12	0.10		2																					0.28m3 As 5-10-10	
2290	M-1+3.5m~ M-2	10.00	1.00		1.98 1.96	1.97		0.19	0.03	0.12	0.10		2																					0.28m3 自然石 6-3-10-10	
2286	M-2~ M-7	71.50	1.00		1.94 1.75	1.85		0.19	0.03	0.12	0.10		2																					0.28m3 自然石 6-3-10-10	
2286	M-7~ M-8	19.80	1.00		1.75 1.74	1.75		0.19	0.03	0.12	0.10		2																					0.28m3 自然石 6-3-10-10	
2286	M-8~ M-9	24.90	1.00		1.70 1.94	1.82		0.19	0.03	0.12	0.10		2																					0.28m3 自然石 6-3-10-10	



組立0号マンホール工  
【Bブロック 補助】φ200

組立0号マンホール集計表

工種	種別	形状・寸法	数量	摘要	
材料	鉄蓋及び受枠	φ600, T-25	- 組		
		φ600, T-14	1.0 組		
	転落防止梯子		1.0 個		
	調整金具	25	- 個		
		45	1.0 個		
	調整リング	50	- 個		
		100	- 個		
		150	1.0 個		
	斜壁	750×600×300	- 個		
		750×600×450	- 個		
		750×600×600	1.0 個		
	直壁	750×300	- 個		
		750×600	- 個		
		750×900	- 個		
		750×1200	- 個		
		750×1500	- 個		
		750×1800	- 個		
		躯体ブロック	750×600	- 個	
	750×900		1.0 個		
	750×1200		- 個		
	750×1500		- 個		
	750×1800		- 個		
	底板	有効高130	1.0 個		
設置工	ブロック据付工	H=1.642m	1.0 箇所		
	砕石基礎工		1.0 箇所		
	インバート工		1.0 箇所		
	削孔工	PRP200		1.0 箇所	
		PRP150		- 箇所	
		VU150		箇所	
		VU100		箇所	
副管設置工	内副管設置工	φ150 H=0.000m (平均)	- 箇所		
		φ100 H=0.000m (平均)	- 箇所		



組立0号マンホール底部工

項目	細別	計 算 式	数 量
	碎石基礎工 (t=0.15m)	$A = \pi / 4 \times 0.95^2$	0.71 m <sup>2</sup>
	インバート工  (コンクリート) 18-8-40BB 下流管中心高 h1=0.16+0.20/2=0.260 上流管中心高 h2=0.16+0.02+0.20/2=0.280 $V = \pi / 4 \times 0.75^2 \times (0.260 + 0.280) / 2$ $- \pi / 4 \times 0.20^2 \times 1/2 \times 0.75$		0.11 m <sup>3</sup>
	(モルタル上塗) 配合1:2 t=20mm	$A = \pi / 4 \times 0.75^2 - 0.20 \times 0.75 + \pi \times 0.20 \times 1/2 \times 0.75$	0.53 m <sup>2</sup>

組立1号マンホール工  
【 Bブロック 補助】 φ200

組立1号マンホール集計表

工種	種別	形状・寸法	数量	摘要	
材料	鉄蓋及び受枠	φ600, T-25	- 組		
		φ600, T-14	1.0 組		
	転落防止梯子		1.0 個		
	調整金具	25	1.0 個		
		45	- 個		
	調整リング	50	- 個		
		100	1.0 個		
		150	- 個		
	斜壁	900×600×300	- 個		
		900×600×450	- 個		
		900×600×600	1.0 個		
	直壁	900×300	- 個		
		900×600	- 個		
		900×900	- 個		
		900×1200	- 個		
		900×1500	- 個		
		900×1800	- 個		
		躯体ブロック	900×600	- 個	
			900×900	- 個	
	900×1200		1.0 個		
	900×1500		- 個		
	900×1800		- 個		
	底板	有効高130	1.0 個		
設置工	ブロック据付工	H=1.855m	1.0 箇所		
	砕石基礎工		1.0 箇所		
	インバート工		1.0 箇所		
	削孔工	PRP200	1.0 箇所		
		PRP150	1.0 箇所		
		VU150	箇所		
		VU100	箇所		
	副管設置工	内副管設置工	φ150 H=0.000m (平均)	- 箇所	
φ100 H=0.000m (平均)			- 箇所		



組立1号マンホール底部工

項目	細別	計 算 式	数 量
	碎石基礎工 (t=0.15m)	$A = \pi / 4 \times 1.10^2$	0.95 m <sup>2</sup>
	インバート工  (コンクリート) 18-8-40BB 下流管中心高 h1=0.16+0.20/2=0.260 上流管中心高 h2=0.16+0.02+0.20/2=0.280 $V = \pi / 4 \times 0.90^2 \times (0.260 + 0.280) / 2$ $- \pi / 4 \times 0.20^2 \times 1/2 \times 0.90$		0.16 m <sup>3</sup>
	(モルタル上塗) 配合1:2 t=20mm	$A = \pi / 4 \times 0.90^2 - 0.20 \times 0.90 + \pi \times 0.20 \times 1/2 \times 0.90$	0.74 m <sup>2</sup>

塩ビ製小型マンホール工  
【Bブロック 補助】φ200





汚水枳及び取付管工  
【Bブロック 補助】φ200

汚水樹及び取付管工数量集計表

種 別	単位	自然石 6-3-10-10	黒いカ 6-3-10-10	黒いカ 6-3-10-10	自然石 6-3-10-10	自然石 6-3-10-10	As 3-10				合 計	備 考	
		BH0. 28 +4t	BH0. 28 +4t	BH0. 13 +2t	BH0. 13 +2t	BH0. 08 +2t	BH0. 13 +2t						
汚水樹設置工	汚水樹	φ200-150×150	個	22							22	樹深 1.50m以下	
取付管工	布設延長	φ150	m	69.30							69.30	(平均) 3.15m	
	接続方法	マンホール接続(3.0m未満)	個										
		マンホール接続(3m以上5m未満)	個										
		マンホール接続(5m以上12m未満)	個										
		本管接続(3.0m未満)	個	9									9
		本管接続(3m以上5m未満)	個	13									13
		本管接続(5m以上12m未満)	個										
	砂基礎工		m3	14.27							14.27		
舗装撤去工	舗装切断工	As 15cm以下	m										
		Co 15cm以下	m										
		Co 15cmを越え30cm以下	m	45.12								45.12	
舗装版破碎工 直接掘削積込工		黒いカ 6-3-10	m2										
		自然石 6-3-10	m2	16.92								16.92	
		As t=5cm	m2										
		Co t=10cm	m2										
		As t=10cm	m2										
		As t=4cm	m2										
土 工	掘削工		m3	54.94							54.94		
	埋戻工	発生土	m3	38.62							38.62		
	残土処分工		m3	12.03							12.03		
	残塊処分工	As	m3										
Co		m3	3.21								3.21		
仮復旧工	表層工	密粒度アスコン t=5cm	m2										
	表層工	密粒度アスコン t=3cm	m2	16.92							16.92		
路盤	上層路盤	粒調砕石(M-30) t=12cm	m2	16.92							16.92		
	下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-30) t=10cm	m2	16.92							16.92		

# 汚水桝及び取付管工数量計算書（自然石 6-3-10-10） -1

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.28+ 4t

路線番号	取付番号	取付管延長 m	汚水桝深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長				摘要	
									控除延長			舗装延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2286	118	2.90	1.40	1.85	0.01	1.39	1.42	1.51	0.50	1.00	0.56	0.84	本管接続	
2286	117	2.30	1.00	1.85	0.29	0.71	0.73	0.82	0.50	1.00	0.56	0.24	本管接続	
2286	116	3.10	1.10	1.85	0.29	0.81	0.84	0.93	0.50	1.00	0.56	1.04	本管接続	
2286	114	3.00	1.30	1.85	-0.01	1.31	1.34	1.43	0.50	1.00	0.56	0.94	本管接続	
2286	113	3.30	1.50	1.85	0.18	1.32	1.35	1.44	0.50	1.00	0.56	1.24	本管接続	
2286	112	2.30	1.10	1.85	0.19	0.91	0.93	1.02	0.50	1.00	0.72	0.08	本管接続	
2286	111	2.90	1.40	1.85	0.10	1.30	1.33	1.42	0.50	1.00	0.56	0.84	本管接続	
2286	110	2.80	1.20	1.85	0.26	0.94	0.97	1.06	0.50	1.00	0.72	0.58	本管接続	
2286	109	3.30	1.50	1.85	0.11	1.39	1.42	1.51	0.50	1.00	0.56	1.24	本管接続	
2286	108	2.80	1.20	1.85	0.27	0.93	0.96	1.05	0.50	1.00	0.72	0.58	本管接続	
2286	107	2.70	1.00	1.85	0.10	0.90	0.93	1.02	0.50	1.00	0.72	0.48	本管接続	
2286	106	3.60	1.90	1.85	0.51	1.39	1.43	1.51	0.50	1.00	0.56	1.54	本管接続	
2286	105	3.70	1.00	1.85	0.06	0.94	0.98	1.06	0.50	1.00	0.72	1.48	本管接続	
2286	104	3.70	1.40	1.85	0.06	1.34	1.38	1.46	0.50	1.00	0.56	1.64	本管接続	
2286	103	3.90	1.40	1.85	0.06	1.34	1.38	1.46	0.50	1.00	0.56	1.84	本管接続	
2286	102	3.40	1.30	1.75	-0.07	1.37	1.40	1.49	0.50	1.00	0.56	1.34	本管接続	
2286	135	4.00	1.40	1.75		1.40	1.44	1.52	0.50	1.00	0.56	1.94	本管接続	
2286	101	3.60	1.50	1.82	0.15	1.35	1.39	1.47	0.50	1.00	0.60	1.50	本管接続	
2286	100	2.60	1.60	1.82	0.18	1.42	1.45	1.54	0.50	1.00	0.81	0.29	本管接続	
2286	99	3.60	1.40	1.82	0.08	1.32	1.36	1.44	0.50	1.00	0.60	1.50	本管接続	
2286	98	3.10	1.40	1.82	0.03	1.37	1.40	1.49	0.50	1.00	0.60	1.00	本管接続	
2286	97	2.70	1.60	1.82	0.16	1.44	1.47	1.56	0.50	1.00	0.81	0.39	本管接続	
計	箇所 22	m 69.30						m 29.21	m 11.00	m 22.00	m 13.74	m 22.56	本管接続 マンホール接続	22

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.28+ 4t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	29.21	÷	22			m	1.33	
舗装部 掘削延長						m	22.56	
未舗装部 掘削延長	22.00	+	13.74			m	35.74	
舗装切断工	22.56	×	2			m	45.12	
舗装版破碎工 Co 19cm	22.56	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	16.92	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.33 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (1.33 - 0.19) × 22.56 + 0.750 × 1.33 × 35.74					m <sup>3</sup>	54.94	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 69.30 本管控除長 11.00	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (69.30 - 11.00)					m <sup>3</sup>	14.27	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.33 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.33 - 0.350		= 0.980					
	0.75 × (0.980 - 0.25) × 22.56 + 0.75 × 0.980 × 35.74					m <sup>3</sup>	38.62	
残土処分工	54.94	-	38.62	÷	0.90	m <sup>3</sup>	12.03	
残塊処分工 Co	16.92	×	0.19			m <sup>3</sup>	3.21	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	22.56	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.33	= 0.75	m <sup>2</sup>	16.92	
上層路盤 t=12cm	22.56	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.33 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	16.92	
下層路盤 t=10cm	22.56	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.33 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	16.92	

積算資料／開削区間  
【Bブロック 補助】φ200



### 工程日数算出表

設計条件		検討路線	Bブロック補助φ200			
		軽量鋼矢板	2.5 mH	掘削	BH 0.28 m3	
		支保工	1 段	砂基礎	BH 0.28 m3	
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	192.39 m3	
		施工延長	114.40 m	碎石基礎工	41.30 m3	
		転用スパン	30.00 m	埋戻工	138.64 m3	
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	$100.00 \text{ m} \div 2.90 \text{ 日 (下水歩掛P40)} = 34.48 \text{ m/日}$ $30.00 \text{ m} \div 34.48 \text{ m/日} = 0.87 \text{ 日}$			1.92	3.30
	支保工 (設置)	$100.00 \text{ m} \div 1.00 \text{ 日 (下水歩掛P49)} = 100.00 \text{ m/日}$ $30.00 \div 100.00 \text{ m/日} = 0.30 \text{ 日}$				
	掘 削	$192.39 \text{ m}^3 \div 114.40 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 50.45 \text{ m}^3$ $50.45 \text{ m}^3 \div 67.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P15)} = 0.75 \text{ 日}$				
	土留工+掘削	= 1.92 日				
b 工程	碎石基礎工 (機械投入)	$41.30 \text{ m}^3 \div 114.40 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 10.83 \text{ m}^3$ $10.83 \text{ m}^3 \div 116.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P19)} = 0.09 \text{ 日}$			0.75	1.30
	碎石基礎工 (転圧作業)	タンパ締固め 36.00 m3/日 (共通編P122) = 36.00 m3/日 $41.30 \text{ m}^3 \div 114.40 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 10.83 \text{ m}^3$ $10.83 \text{ m}^3 \div (36.00 \text{ m}^3/\text{日} \times 2.00 \text{ 台}) = 0.15 \text{ 日}$				
	管 布 設 工	$10.00 \text{ m} \div 0.20 \text{ 人 (下水歩掛H24, P4)} = 50.00 \text{ m/日}$ $30.00 \text{ m} \div 50.00 \text{ m/日} = 0.60 \text{ 日}$				
	碎石基礎+管布設	0.15 日 + 0.60 日 = 0.75 日				
c 工程	埋戻工 (機械投入)	$138.64 \text{ m}^3 \div 114.40 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 36.36 \text{ m}^3$ $36.36 \text{ m}^3 \div 116.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P19)} = 0.31 \text{ 日}$			0.51	0.90
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 36.00 m3/日 (共通編P122) = 36.00 m3/日 $138.64 \text{ m}^3 \div 114.40 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 36.36 \text{ m}^3$ $36.36 \text{ m}^3 \div (36.00 \text{ m}^3/\text{日} \times 2.00 \text{ 台}) = 0.51 \text{ 日}$				
	埋戻工	= 0.51 日				
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	$100.00 \text{ m} \div 1.20 \text{ 日 (下水歩掛P40)} = 83.33 \text{ m/日}$ $30.00 \text{ m} \div 83.33 \text{ m/日} = 0.36 \text{ 日}$			0.57	1.00
	支保工 (撤去)	$100.00 \text{ m} \div 0.70 \text{ 日 (下水歩掛P49)} = 142.86 \text{ m/日}$ $30.00 \div 142.86 \text{ m/日} = 0.21 \text{ 日}$				
	土留工+掘削	= 0.57 日				

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械 (タンパ) を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械 (タンパ) を2台使用する。  
           機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

• 土留転用回数	$114.4\text{m} \div 30\text{m} = 3.8 \text{ 回} \approx 4 \text{ 回}$
• 土留賃料日数 (30m)	$(3.3 + 1/2 \times 1.3 + 1) = 4.95 \text{ 日}$
• 土留供用日数	$3.8 \times 4.95 = 18.8 \text{ 日} \approx 19 \text{ 日}$
• 水替え日数	$(1.92 + \max(0.51, 0.57)) / 2 = 1.2 \text{ 日} \times 3.8 \text{ 回} = 4.6 \text{ 日} \approx 5 \text{ 日}$
• 交通整理員実日数	$18.8 \div 1 = 18.8 \text{ 日} \approx 19 \text{ 日}$

### 工程日数算出表

設計条件		検討路線	Bブロック補助φ200			
		軽量鋼矢板	2.0 mH	掘削	BH 0.28 m3	
		支保工	1 段	砂基礎	BH 0.28 m3	
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	30.89 m3	
		施工延長	19.80 m	碎石基礎工	7.10 m3	
		転用スパン	30.00 m	埋戻工	21.78 m3	
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	$100.00 \text{ m} \div 2.60 \text{ 日 (下水歩掛P40)} = 38.46 \text{ m/日}$ $30.00 \text{ m} \div 38.46 \text{ m/日} = 0.78 \text{ 日}$			1.78	3.00
	支保工 (設置)	$100.00 \text{ m} \div 1.00 \text{ 日 (下水歩掛P49)} = 100.00 \text{ m/日}$ $30.00 \div 100.00 \text{ m/日} = 0.30 \text{ 日}$				
	掘 削	$30.89 \text{ m}^3 \div 19.80 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 46.80 \text{ m}^3$ $46.80 \text{ m}^3 \div 67.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P15)} = 0.70 \text{ 日}$				
	土留工+掘削	= 1.78 日				
b 工程	碎石基礎工 (機械投入)	$7.10 \text{ m}^3 \div 19.80 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 10.76 \text{ m}^3$ $10.76 \text{ m}^3 \div 116.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P19)} = 0.09 \text{ 日}$			0.75	1.30
	碎石基礎工 (転圧作業)	タンパ締固め 36.00 m3/日 (共通編P122) = 36.00 m3/日 $7.10 \text{ m}^3 \div 19.80 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 10.76 \text{ m}^3$ $10.76 \text{ m}^3 \div (36.00 \text{ m}^3/\text{日} \times 2.00 \text{ 台}) = 0.15 \text{ 日}$				
	管 布 設 工	$10.00 \text{ m} \div 0.20 \text{ 人 (下水歩掛H24, P4)} = 50.00 \text{ m/日}$ $30.00 \text{ m} \div 50.00 \text{ m/日} = 0.60 \text{ 日}$				
	碎石基礎+管布設	0.15 日 + 0.60 日 = 0.75 日				
c 工程	埋戻工 (機械投入)	$21.78 \text{ m}^3 \div 19.80 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 33.00 \text{ m}^3$ $33.00 \text{ m}^3 \div 116.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P19)} = 0.28 \text{ 日}$			0.46	0.80
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 36.00 m3/日 (共通編P122) = 36.00 m3/日 $21.78 \text{ m}^3 \div 19.80 \text{ m} \times 30.00 \text{ m} = 33.00 \text{ m}^3$ $33.00 \text{ m}^3 \div (36.00 \text{ m}^3/\text{日} \times 2.00 \text{ 台}) = 0.46 \text{ 日}$				
	埋戻工	= 0.46 日				
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	$100.00 \text{ m} \div 1.00 \text{ 日 (下水歩掛P40)} = 100.00 \text{ m/日}$ $30.00 \text{ m} \div 100.00 \text{ m/日} = 0.30 \text{ 日}$			0.51	0.90
	支保工 (撤去)	$100.00 \text{ m} \div 0.70 \text{ 日 (下水歩掛P49)} = 142.86 \text{ m/日}$ $30.00 \div 142.86 \text{ m/日} = 0.21 \text{ 日}$				
	土留工+掘削	= 0.51 日				

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械 (タンパ) を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械 (タンパ) を2台使用する。  
           機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	$19.8\text{m} \div 30\text{m} = 0.7 \text{ 回} \approx 1 \text{ 回}$
・ 土留賃料日数 (30m)	$(3+1/2 \times 1.3+0.9) = 4.55 \text{ 日}$
・ 土留供用日数	$0.7 \times 4.55 = 3.2 \text{ 日} \approx 4 \text{ 日}$
・ 水替え日数	$(1.78+\max(0.46, 0.51)) \div 2 = 1.1 \text{ 日} \times 0.7 \text{ 回} = 0.8 \text{ 日} \approx 1 \text{ 日}$
・ 交通整理員実日数	$3.2 \div 1 = 3.2 \text{ 日} \approx 4 \text{ 日}$

管布設工  
【Fブロック 補助】φ200



管布設工数量計算書 (PRPφ200)

路線 番号	人孔 番号	路線 延長 m	人孔 減長 m	管体 延長 m	掘削 幅 m	掘削 勾配	掘削 深 m	平均 掘削 深 m	舗装 種別	掘削 時表 層厚 m	復旧 時表 層厚 m	上層 路盤 厚 m	下層 路盤 厚 m	管径 m	基礎 埋戻 厚 m	掘削 種別	掘削土量			碎石埋戻(A)			発生土埋戻(B)			残土量			PRPφ200		可 とう 継手 個	土 留 種別	備考	
																	人力	機械		人力	機械		人力	機械		人力	機械		片 受 直 管 本	P E 直 管 m				
																		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3						
																		m3	m3		m3	m3		m3	m3		m3	m3						
2114	既M-2115-1 M-1	9.00	0.45 0.38	8.17	0.95		2.10 2.10	2.10	As 5-10-10	0.05	0.03	0.12	0.10	0.200	0.400	0.13m3		17.53			2.85			12.40			3.75		2	0.17	1	軽2.5(1)		
2114	M-1~ M-2	16.00	0.38	15.62	0.95		1.82 1.87	1.85	As 5-10-10	0.05	0.03	0.12	0.10	0.200	0.400	0.13m3		27.36			5.44			18.24			7.09		4		1	軽2.5(1)		
2114	M-2~ M-2+25.3m	25.30		25.30	0.95		1.87 1.96	1.92	As 5-10-10	0.05	0.03	0.12	0.10	0.200	0.400	0.13m3		44.95			8.82			30.52			11.04		7			1	軽2.5(1)	
2114	M-2-25.3m~ M-3	2.20	0.45 0.45	1.75	0.95		1.96 1.97	1.97	自然石 6-3-10-10	0.19	0.03	0.12	0.10	0.200	0.400	0.13m3		3.72			0.61			2.76			0.65		1		1	軽2.5(1)		
2112	M-3~ M-4	7.00		6.55	0.95		1.95 1.86	1.91	自然石 6-3-10-10	0.19	0.03	0.12	0.10	0.200	0.400	0.13m3		11.44			2.28			8.38			2.13		2		1	軽2.5(1)		
2112	M-4~ M-5	10.00	0.38	9.62	0.95		1.86 1.79	1.83	黒い砂 6-3-10-10	0.19	0.03	0.12	0.10	0.200	0.400	0.13m3		15.58			3.35			11.21			3.12		2	1.62	1	軽2.5(1)		
2112	M-5~ M-5+6.3m	6.30	0.38	5.92	0.95		1.77 1.74	1.76	黒い砂 6-3-10-10	0.19	0.03	0.12	0.10	0.200	0.400	0.13m3		9.40			2.06			6.64			2.02		2		1	軽2.0(1)		
2112	M-5-6.3m~ M-6	42.70		42.70	0.95		1.74 1.47	1.61	自然石 6-3-10-10	0.19	0.03	0.12	0.10	0.200	0.400	0.13m3		57.60			14.88			38.94			14.33		11			1	軽2.0(1)	

管布設工数量計算書 (PRPφ200)

路線番号	人孔番号	路線延長 m	人孔減長 m	管体延長 m	掘削幅 m	掘削勾配	掘削深 m	平均掘削深 m	舗装種別	掘削時表層厚 m	復旧時表層厚 m	上層路盤厚 m	下層路盤厚 m	管径 m	基礎埋戻厚 m	掘削種別	掘削土量			碎石埋戻(A)			発生土埋戻(B)			残土量			PRPφ200		可とう継手 個	土留種別	備考				
																	人力	機械		人力	機械		人力	機械		人力	機械		片受直管 本	PE直管 m							
																		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3									
																	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3									
土留別小計	建2.0																																				
	建2.5																																				
	建3.0																																				
	建3.5																																				
	建4.0																																				
	軽2.0(1)	49.00	0.38	48.62																																	
	軽2.5(1)	69.50	2.49	67.01																																	
	軽2.5(2)																																				
	軽3.0(2)																																				
	軽3.5(2)																																				
	ア2.0(1)																																				
	ア2.5(1)																																				
	ア2.5(2)																																				
ア3.0(2)																																					
ア3.5(2)																																					
素掘り																																					
合計		118.50	2.87	115.63																																	
																	187.58			40.29			129.09			44.13			31	1.79	7						

付帯工  
【Fブロック 補助】φ200



舗装復旧工数量計算書

路線番号	人孔番号	路線延長	掘削幅	掘削勾配	掘削深	平均掘削深	掘削時表層厚		復旧時表層厚	上層路盤厚	下層路盤厚	路盤鋤取厚	舗装切断回数	復旧幅				下層路盤下幅	上層路盤下幅	表層下幅	掘削上幅	舗装切断 (掘削分)	舗装取壊			仮復旧	路盤鋤取	下層路盤	上層路盤	舗装復旧	残土処理		備考	
							As	Co or 黒いカ or 自然石						(左)	平均幅	(右)	平均幅(全幅)						全体	掘削部	影響部									
							m	m						m	m	m	m						m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>2</sup>
2114	既M-2115-1~ M-1	9.00	0.95		2.10	2.10	0.05		0.03	0.12	0.10		2																					0.13m <sup>3</sup> As 5-10-10
2114	M-1~ M-2	16.00	0.95		1.82	1.85	0.05		0.03	0.12	0.10		2																				0.13m <sup>3</sup> As 5-10-10	
2114	M-2 M-2+25.3m~	25.30	0.95		1.87	1.92	0.05		0.03	0.12	0.10		2																				0.13m <sup>3</sup> As 5-10-10	
2114	M-2-25.3m~ M-3	2.20	0.95		1.96	1.97		0.19	0.03	0.12	0.10		2																				0.13m <sup>3</sup> 自然石 6-3-10-10	
2112	M-3~ M-4	7.00	0.95		1.97	1.91		0.19	0.03	0.12	0.10		2																				0.13m <sup>3</sup> 自然石 6-3-10-10	
2112	M-4~ M-5	10.00	0.95		1.86	1.83		0.19	0.03	0.12	0.10		2																				0.13m <sup>3</sup> 黒いカ 6-3-10-10	
2112	M-5~ M-5+6.3m	6.30	0.95		1.79	1.76		0.19	0.03	0.12	0.10		2																				0.13m <sup>3</sup> 黒いカ 6-3-10-10	
2112	M-5-6.3m~ M-6	42.70	0.95		1.77	1.61		0.19	0.03	0.12	0.10		2																				0.13m <sup>3</sup> 自然石 6-3-10-10	



組立0号マンホール工  
【Fブロック 補助】

組立0号マンホール集計表

工種	種別	形状・寸法	数量	摘要	
材料	鉄蓋及び受枠	φ600, T-25	- 組		
		φ600, T-14	2.0 組		
	転落防止梯子		1.0 個		
	調整金具	25	- 個		
		45	1.0 個		
		調整リング	50	1.0 個	
		100	1.0 個		
		150	- 個		
	斜壁	750×600×300	- 個		
		750×600×450	2.0 個		
		750×600×600	- 個		
	直壁	750×300	- 個		
		750×600	- 個		
		750×900	- 個		
		750×1200	- 個		
		750×1500	- 個		
		750×1800	- 個		
		躯体ブロック	750×600	- 個	
			750×900	- 個	
	750×1200		1.0 個		
	750×1500		1.0 個		
	750×1800		- 個		
	底板	有効高130	2.0 個		
設置工	ブロック据付工	H=1.847m	2.0 箇所		
	砕石基礎工		2.0 箇所		
	インバート工		2.0 箇所		
	削孔工	PRP200		2.0 箇所	
		PRP150		- 箇所	
		VU150		0.0 箇所	
		VU100		- 箇所	
副管設置工	内副管設置工	φ150 H=0.000m (平均)	- 箇所		
		φ100 H=0.000m (平均)	- 箇所		



## 組立0号マンホール底部工

項目	細別	計 算 式	数 量
	碎石基礎工 (t=0.15m)	$A = \pi / 4 \times 0.95^2$	0.71 m <sup>2</sup>
	インバート工	(コンクリート) 18-8-40BB 下流管中心高 $h1 = 0.16 + 0.20 / 2 = 0.260$ 上流管中心高 $h2 = 0.16 + 0.02 + 0.20 / 2 = 0.280$ $V = \pi / 4 \times 0.75^2 \times (0.260 + 0.280) / 2$ $- \pi / 4 \times 0.20^2 \times 1 / 2 \times 0.75$	0.11 m <sup>3</sup>
		(モルタル上塗) 配合1:2 t=20mm $A = \pi / 4 \times 0.75^2 - 0.20 \times 0.75 + \pi \times 0.20 \times 1 / 2 \times 0.75$	0.53 m <sup>2</sup>

組立1号マンホール工  
【Fブロック 補助】

組立1号マンホール集計表

工種	種別	形状・寸法	数量	摘要	
材料	鉄蓋及び受枠	φ600, T-25	- 組		
		φ600, T-14	1.0 組		
	転落防止梯子		- 個		
	調整金具	25	1.0 個		
		45	- 個		
	調整リング	50	- 個		
		100	1.0 個		
		150	- 個		
	斜壁	900×600×300	- 個		
		900×600×450	- 個		
		900×600×600	1.0 個		
	直壁	900×300	- 個		
		900×600	- 個		
		900×900	- 個		
		900×1200	- 個		
		900×1500	- 個		
		900×1800	- 個		
		躯体ブロック	900×600	- 個	
			900×900	- 個	
	900×1200		1.0 個		
	900×1500		- 個		
	900×1800		- 個		
	底板	有効高130	1.0 個		
設置工	ブロック据付工	H=1.868m	1.0 箇所		
	砕石基礎工		1.0 箇所		
	インバート工		1.0 箇所		
	削孔工	PRP200		3.0 箇所	
		PRP150		- 箇所	
		VU150		1.0 箇所	
		VU100		- 箇所	
副管設置工	内副管設置工	φ150 H=0.000m (平均)	- 箇所		
		φ100 H=0.000m (平均)	- 箇所		



組立1号マンホール底部工

項目	細別	計 算 式	数 量
	碎石基礎工 (t=0.15m)	$A = \pi / 4 \times 1.10^2$	0.95 m <sup>2</sup>
	インバート工	(コンクリート) 18-8-40BB 下流管中心高 h1=0.16+0.20/2=0.260 上流管中心高 h2=0.16+0.02+0.20/2=0.280 $V = \pi / 4 \times 0.90^2 \times (0.260 + 0.280) / 2$ $- \pi / 4 \times 0.20^2 \times 1/2 \times 0.90$	0.16 m <sup>3</sup>
	(モルタル上塗) 配合1:2 t=20mm	$A = \pi / 4 \times 0.90^2 - 0.20 \times 0.90 + \pi \times 0.20 \times 1/2 \times 0.90$	0.74 m <sup>2</sup>

汚水枳及び取付管工  
【Fブロック 補助】

汚水樹及び取付管工数量集計表

種 別	単位	黒いガ 6-3-10-10	自然石 6-3-10-10	As 5-10-10	Co 10-10	As 4-7-11	As 3-10				合 計	備 考
		BH0. 13 +2t	BH0. 13 +2t	BH0. 13 +2t	人力 +小車	人力 +小車	BH0. 13 +2t					
汚水樹設置工	汚 水 樹	φ200-150×150	個	2	6	7					15	樹深 1.50m以下
取付管工	布設延長	φ150	m	4.70	16.80	15.90					37.40	(平均) 2.49m
	接続方法	マンホール接続(3.0m未満)	個		1						1	
		マンホール接続(3m以上5m未満)	個									
		マンホール接続(5m以上12m未満)	個									
		本管接続(3.0m未満)	個	2	1	7						10
		本管接続(3m以上5m未満)	個		4							4
		本管接続(5m以上12m未満)	個									
	砂基礎工		m3	0.92	3.41	3.07					7.40	
舗装撤去工	舗装切断工	As 15cm以下	m			6.88					6.88	
		Co 15cm以下	m									
		Co 15cmを越え30cm以下	m	3.08	10.36							13.44
舗装版破碎工 直接掘削積込工		黒いガ 6-3-10	m2	1.16							1.16	
		自然石 6-3-10	m2		3.89						3.89	
		As t=5cm	m2			2.58					2.58	
		Co t=10cm	m2									
		As t=10cm	m2									
土 工	掘 削 工	As t=4cm	m2									
			m3	3.62	12.21	7.49					23.32	
		埋 戻 工	発生土	m3	2.57	8.32	3.68					14.57
		残土処分工		m3	0.76	2.97	3.40					7.13
		残塊処分工	As	m3			0.13					0.13
Co	m3		0.22	0.74						0.96		
仮 復 旧 工	表 層 工	密粒度アスコン t=5cm	m2									
	表 層 工	密粒度アスコン t=3cm	m2	1.16	3.89	2.58					7.63	
路 盤	上層路盤	粒調砕石(M-30) t=12cm	m2	1.16	3.89	2.58					7.63	
	下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-30) t=10cm	m2	1.16	3.89	2.58					7.63	

汚水樹及び取付管工数量計算書 (黒レンガ 6-3-10-10) -1

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

路線 番号	取付 番号	取付 管延 長 m	汚水 樹深 m	本管 平均 掘削 深 m	境界 高低 差 m	境界 土工 高 m	本管 流入 高 m	平均 掘削 深 m	舗装延長				摘 要	
									控除延長			舗装 延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2112	221	1.80	1.30	1.83	-0.11	1.41	1.43	1.52	0.48	1.00		0.32	本管接続	
2112	220	2.90	1.10	1.76		1.10	1.13	1.22	0.48	1.00	0.20	1.22	本管接続	
計	箇所 2	m 4.70						m 2.74	m 0.96	m 2.00	m 0.20	m 1.54	本管接続 マンホール接続	2

汚水枳及び取付管工 土工計算書 (黒レンガ 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

種 別	枳設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	2.74	÷	2			m	1.37	
舗装部 掘削延長						m	1.54	
未舗装部 掘削延長	2.00	+	0.20			m	2.20	
舗装切断工	1.54	×	2			m	3.08	
舗装版破碎工 Co 19cm	1.54	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	1.16	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.37 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.75				
			0.750 × (1.37 - 0.19) × 1.54	+	0.750 × 1.37 × 2.20	m <sup>3</sup>	3.62	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.75				
取付管延長 4.70 本管控除長 0.96			(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (4.70 - 0.96)			m <sup>3</sup>	0.92	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.37 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.750				
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.750				
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.37 - 0.350			= 1.020				
			0.75 × (1.020 - 0.25) × 1.54	+	0.75 × 1.020 × 2.20	m <sup>3</sup>	2.57	
残土処分工	3.62	-	2.57	÷	0.90	m <sup>3</sup>	0.76	
残塊処分工 Co	1.16	×	0.19			m <sup>3</sup>	0.22	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	1.54	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.37	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.16	
上層路盤 t=12cm	1.54	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.37 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.16	
下層路盤 t=10cm	1.54	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.37 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.16	

# 汚水樹及び取付管工数量計算書 (自然石 6-3-10-10) -1

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

路線 番号	取付 番号	取 付 管 延 長 m	汚 水 樹 深 m	本 管 平 均 掘 削 深 m	境 界 高 低 差 m	境 界 土 工 高 m	本 管 流 入 高 m	平 均 掘 削 深 m	舗装延長				摘 要	
									控除延長			舗装 延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2114	222	1.90	1.20	1.97	0.01	1.19	1.21	1.30	0.48	1.00	0.30	0.12	人孔接続	
2112	219	3.00	1.10	1.61	-0.02	1.12	1.15	1.24	0.48	1.00	0.56	0.96	本管接続	
2112	218	3.00	1.20	1.61	0.11	1.09	1.12	1.21	0.48	1.00	0.20	1.32	本管接続	
2112	217	3.00	1.20	1.61	0.09	1.11	1.14	1.23	0.48	1.00	0.56	0.96	本管接続	
2112	216	3.00	1.10	1.61		1.10	1.13	1.22	0.48	1.00	0.56	0.96	本管接続	
2112	215	2.90	1.10	1.61	0.01	1.09	1.12	1.21	0.48	1.00	0.56	0.86	本管接続	
計	箇所 6	m 16.80						m 7.41	m 2.88	m 6.00	m 2.74	m 5.18	本管接続 マンホール接続	5 1

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	7.41	÷	6			m	1.24	
舗装部 掘削延長						m	5.18	
未舗装部 掘削延長	6.00	+	2.74			m	8.74	
舗装切断工	5.18	×	2			m	10.36	
舗装版破碎工 Co 19cm	5.18	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	3.89	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.24 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (1.24 - 0.19) × 5.18 + 0.750 × 1.24 × 8.74					m <sup>3</sup>	12.21	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 16.80 本管控除長 2.88	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (16.80 - 2.88)					m <sup>3</sup>	3.41	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.24 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.24 - 0.350		= 0.890					
	0.75 × (0.890 - 0.25) × 5.18 + 0.75 × 0.890 × 8.74					m <sup>3</sup>	8.32	
残土処分工	12.21	-	8.32	÷	0.90	m <sup>3</sup>	2.97	
残塊処分工 Co	3.89	×	0.19			m <sup>3</sup>	0.74	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	5.18	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.24	= 0.75	m <sup>2</sup>	3.89	
上層路盤 t=12cm	5.18	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.24 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	3.89	
下層路盤 t=10cm	5.18	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.24 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	3.89	

### 汚水樹及び取付管工数量計算書 (As 5-10-10) -1

現況As 5cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

路線 番号	取付 番号	取付 管延 長 m	汚水 樹深 m	本管 平均 掘削 深 m	境界 高低 差 m	境界 土工 高 m	本管 流入 高 m	平均 掘削 深 m	舗装延長				摘 要	
									控除延長			舗装 延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2114	239	2.50	0.80	1.85	0.07	0.73	0.76	0.85	0.48	1.00	0.30	0.72	本管接続	
2114	238	2.70	0.80	1.85	0.12	0.68	0.71	0.80	0.48	1.00	0.30	0.92	本管接続	
2114	237	2.20	0.80	1.85	0.14	0.66	0.68	0.77	0.48	1.00	0.30	0.42	本管接続	
2114	236	2.00	0.80	1.92	0.24	0.56	0.58	0.67	0.48	1.00	0.30	0.22	本管接続	
2114	235	2.20	0.80	1.92	0.05	0.75	0.77	0.86	0.48	1.00	0.30	0.42	本管接続	
2114	234	2.00	0.80	1.92	0.05	0.75	0.77	0.86	0.48	1.00	0.30	0.22	本管接続	
2114	233	2.30	0.80	1.92	0.03	0.77	0.79	0.88	0.48	1.00	0.30	0.52	本管接続	
計	箇所 7	m 15.90						m 5.69	m 3.36	m 7.00	m 2.10	m 3.44	本管接続 マンホール接続	7

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (As 5-10-10) -2

現況As 5cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	5.69	÷	7			m	0.81	
舗装部 掘削延長						m	3.44	
未舗装部 掘削延長	7.00	+	2.10			m	9.10	
舗装切断工	3.44	×	2			m	6.88	
舗装版破碎工 As 5cm	3.44	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	2.58	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (0.81 - 0.05)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (0.81 - 0.05) × 3.44	+	0.750 × 0.81 × 9.10			m <sup>3</sup>	7.49	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 15.90 本管控除長 3.36	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (15.90 - 3.36)					m <sup>3</sup>	3.07	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (0.81 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 0.81 - 0.350		= 0.460					
	0.75 × (0.460 - 0.25) × 3.44	+	0.75 × 0.460 × 9.10			m <sup>3</sup>	3.68	
残土処分工	7.49	-	3.68	÷	0.90	m <sup>3</sup>	3.40	
残塊処分工 As	2.58	×	0.05			m <sup>3</sup>	0.13	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	3.44	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 0.81	= 0.75	m <sup>2</sup>	2.58	
上層路盤 t=12cm	3.44	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (0.81 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	2.58	
下層路盤 t=10cm	3.44	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (0.81 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	2.58	

積算資料／開削区間  
【Fブロック 補助】



### 工程日数算出表

設計条件		工 区		Fブロック補助			
		軽量鋼矢板	2.0 mH	掘削	BH 0.13 m3		
		支保工	1 段	砂基礎	BH 0.13 m3		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	67.00 m3		
		施工延長	49.00 m	砕石基礎工	16.94 m3		
		転用スパン	30.00 m	埋戻工	45.58 m3		
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.00 日 (下水歩掛P41) = 50.00 m/日				1.71	2.90
		30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日					
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 0.60 日 (下水歩掛P50) = 166.67 m/日					
		30.00 ÷ 166.67 m/日 = 0.18 日					
掘 削	67.00 m <sup>3</sup> ÷ 49.00 m × 30.00 m = 41.02 m <sup>3</sup>						
	41.02 m <sup>3</sup> ÷ 44.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 0.93 日						
土留工+掘削		= 1.71 日					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	16.94 m <sup>3</sup> ÷ 49.00 m × 30.00 m = 10.37 m <sup>3</sup>				0.76	1.30
		10.37 m <sup>3</sup> ÷ 65.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.16 日					
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		16.94 m <sup>3</sup> ÷ 49.00 m × 30.00 m = 10.37 m <sup>3</sup>					
管 布 設 工	10.37 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.16 日						
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日						
砕石基礎+管布設		30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日					
埋戻工		0.16 日 + 0.60 日 = 0.76 日					
c 工程	埋戻工 (機械投入)	45.58 m <sup>3</sup> ÷ 49.00 m × 30.00 m = 27.91 m <sup>3</sup>				0.43	0.70
		27.91 m <sup>3</sup> ÷ 65.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.43 日					
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		45.58 m <sup>3</sup> ÷ 49.00 m × 30.00 m = 27.91 m <sup>3</sup>					
埋戻工		27.91 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.42 日					
埋戻工		= 0.43 日					
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日				0.42	0.70
		30.00 m ÷ 111.11 m/日 = 0.27 日					
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 0.50 日 (下水歩掛P51) = 200.00 m/日					
		30.00 ÷ 200.00 m/日 = 0.15 日					
土留工+掘削		= 0.42 日					

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	49m ÷ 30m =	1.6 回	≒	2 回
・ 土留賃料日数(30m)	(2.9+1/2×1.3+0.7) =	4.25 日		
・ 土留供用日数	1.6×4.25 =	6.8 日	≒	7 日
・ 水替え日数	(1.71+max(0.43, 0.42))/2 =	1.1 日	× 1.6回 =	1.8 日 ≒ 2日
・ 交通整理員実日数	6.8 ÷ 1 =	6.8 日	≒	7 日

### 工程日数算出表

設計条件		工 区		Fブロック補助			
		軽量鋼矢板	2.5 mH	掘削	BH 0.13 m3		
		支保工	1 段	砂基礎	BH 0.13 m3		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	120.58 m3		
		施工延長	69.50 m	砕石基礎工	23.35 m3		
		転用スパン	30.00 m	埋戻工	83.51 m3		
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.40 日 (下水歩掛P41) = 41.67 m/日				2.08	3.50
		30.00 m ÷ 41.67 m/日 = 0.72 日					
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 0.60 日 (下水歩掛P50) = 166.67 m/日					
		30.00 ÷ 166.67 m/日 = 0.18 日					
掘 削	120.58 m <sup>3</sup> ÷ 69.50 m × 30.00 m = 52.05 m <sup>3</sup>						
	52.05 m <sup>3</sup> ÷ 44.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 1.18 日						
土留工+掘削		= 2.08 日					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	23.35 m <sup>3</sup> ÷ 69.50 m × 30.00 m = 10.08 m <sup>3</sup>				0.76	1.30
		10.08 m <sup>3</sup> ÷ 65.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.16 日					
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		23.35 m <sup>3</sup> ÷ 69.50 m × 30.00 m = 10.08 m <sup>3</sup>					
管 布 設 工	10.08 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.15 日						
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日						
砕石基礎+管布設	30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日						
	0.16 日 + 0.60 日 = 0.76 日						
c 工程	埋戻工 (機械投入)	83.51 m <sup>3</sup> ÷ 69.50 m × 30.00 m = 36.05 m <sup>3</sup>				0.55	0.90
		36.05 m <sup>3</sup> ÷ 65.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.55 日					
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		83.51 m <sup>3</sup> ÷ 69.50 m × 30.00 m = 36.05 m <sup>3</sup>					
埋戻工		36.05 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.55 日					
		= 0.55 日					
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日				0.42	0.70
		30.00 m ÷ 111.11 m/日 = 0.27 日					
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 0.50 日 (下水歩掛P51) = 200.00 m/日					
		30.00 ÷ 200.00 m/日 = 0.15 日					
土留工+掘削		= 0.42 日					

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	69.5m ÷ 30m = 2.3 回 ≒ 3 回
・ 土留賃料日数(30m)	(3.5+1/2×1.3+0.7) = 4.85 日
・ 土留供用日数	2.3×4.85 = 11.2 日 ≒ 12 日
・ 水替え日数	(2.08+max(0.55, 0.42))/2 = 1.3 日 × 2.3回 = 3.0 日 ≒ 3日
・ 交通整理員実日数	11.2 ÷ 1 = 11.2 日 ≒ 12 日

管布設工  
【Gブロック 補助】

管 布 設 工 集 計

工種	種別	形状・寸法	単位	軽量鋼矢板						合計	摘要	
				2.0(1)	2.5(1)	2.5(2)	3.0(2)	3.5(2)				
区間距離			m	12.30	101.90	41.50					155.70	
管布設工	布設工	PRPφ200	m	11.24	99.79	40.82					151.85	
	可とう継手	(貼付けタイプ) PRP用φ200	個	2	5	1					8	
	直管	(片受) PRPφ200×4.00m	本	3	27	11.00					41	
	直管	(PE) PRPφ200	m									
土工	機械掘削工	管布設土工 0.13m3	m³	4.72							4.72	
	埋戻工(B)	0.13m3 発生土	m³	3.20							3.20	
	機械掘削工	管布設土工 0.28m3	m³	12.92	175.45	79.16					267.53	
	埋戻工(B)	0.28m3 発生土	m³	9.01	128.59	60.07					197.67	
	砕石基礎工(A)	0.13m3 RC-40	m³	1.07							1.07	
	砕石基礎工(A)	0.28m3 RC-40	m³	2.85	36.78	15.05					54.68	
	残土処理工	0.13m3 DT2t	m³	1.16							1.16	
	残土処理工	0.28m3 DT4t	m³	2.91	32.57	12.41					47.89	
土留工	軽量鋼矢板 土留工	H=2.00m 0.13m3	m	3.80							3.80	
		H=2.50m 0.13m3	m									
		H=3.00m 0.13m3	m									
		H=3.50m 0.13m3	m									
		H=2.00m 0.28m3	m	8.50							8.50	
		H=2.50m 0.28m3	m		101.90	41.50					143.40	
		H=3.00m 0.28m3	m									
		H=3.50m 0.28m3	m									
	軽量金属 支保工	1段, W=0.95m	m	3.80							3.80	
		2段, W=0.95m	m									
		1段, W=1.00m	m	8.50	101.90						110.40	
		2段, W=1.00m	m			41.50					41.50	





管布設工数量計算書 (PRPφ200)

路線 番号	人孔 番号	路線 延長	人孔 減長	管体 延長	掘削 幅	掘削 勾配	掘削 深	平均 掘削深	舗装 種別	掘削時 表層厚	復旧時 表層厚	上層 路盤厚	下層 路盤厚	管径	基礎埋 戻厚	掘削 種別	掘削土量		碎石埋戻(A)		発生土埋戻(B)		残土量		PRPφ200		可とう 継手	土留 種別	備考							
																	人力	機械		人力	機械		人力	機械		人力				機械		片受直管	PE直管			
																		0.13m <sup>3</sup>	0.28m <sup>3</sup>		0.13m <sup>3</sup>	0.28m <sup>3</sup>		0.13m <sup>3</sup>	0.28m <sup>3</sup>					0.13m <sup>3</sup>	0.28m <sup>3</sup>					
m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	本	m	個										
2121	M-23~		0.15				0.60									0.13m <sup>3</sup>																				
-1	M-24	2.90	0.15	2.60	0.80	0.10	0.92	0.76	Co 10-10	0.10	0.03		0.17	0.200	0.400	0.13m <sup>3</sup>		1.66																	素掘り	



付帯工  
【Gブロック 補助】











組立0号マンホール工  
【Gブロック 補助】

組立0号マンホール集計表

工種	種別	形状・寸法	数量	摘要	
材料	鉄蓋及び受枠	φ600, T-25	- 組		
		φ600, T-14	3.0 組		
	転落防止梯子		1.0 個		
	調整金具	25	2.0 個		
		45	1.0 個		
	調整リング	50	2.0 個		
		100	- 個		
		150	1.0 個		
	斜壁	750×600×300	- 個		
		750×600×450	3.0 個		
		750×600×600	- 個		
	直壁	750×300	- 個		
		750×600	- 個		
		750×900	- 個		
		750×1200	- 個		
		750×1500	- 個		
		750×1800	- 個		
		躯体ブロック	750×600	- 個	
			750×900	- 個	
	750×1200		1.0 個		
	750×1500		2.0 個		
	750×1800		- 個		
	底板	有効高130	3.0 個		
設置工	ブロック据付工	H=1.909m	3.0 箇所		
	砕石基礎工		3.0 箇所		
	インバート工		3.0 箇所		
	削孔工	PRP200	3.0 箇所		
		PRP150	- 箇所		
		VU150	2.0 箇所		
		VU100	- 箇所		
	副管設置工	内副管設置工	φ150 H=0.000m (平均)	- 箇所	
φ100 H=0.000m (平均)			- 箇所		



組立0号マンホール底部工

項目	細別	計 算 式	数 量
	碎石基礎工 (t=0.15m)	$A = \pi / 4 \times 0.95^2$	0.71 m <sup>2</sup>
	インバート工  (コンクリート) 18-8-40BB 下流管中心高 h1=0.16+0.20/2=0.260 上流管中心高 h2=0.16+0.02+0.20/2=0.280 $V = \pi / 4 \times 0.75^2 \times (0.260 + 0.280) / 2$ $- \pi / 4 \times 0.20^2 \times 1/2 \times 0.75$		0.11 m <sup>3</sup>
	(モルタル上塗) 配合1:2 t=20mm	$A = \pi / 4 \times 0.75^2 - 0.20 \times 0.75 + \pi \times 0.20 \times 1/2 \times 0.75$	0.53 m <sup>2</sup>

組立1号マンホール工  
【Gブロック 補助】

組立1号マンホール集計表

工種	種別	形状・寸法	数量	摘要	
材料	鉄蓋及び受枠	φ600, T-25	- 組		
		φ600, T-14	2.0 組		
	転落防止梯子		- 個		
	調整金具	25	2.0 個		
		45	- 個		
		調整リング	50	1.0 個	
			100	- 個	
		150	1.0 個		
	斜壁	900×600×300	- 個		
		900×600×450	- 個		
		900×600×600	2.0 個		
	直壁	900×300	- 個		
		900×600	- 個		
		900×900	- 個		
		900×1200	- 個		
		900×1500	- 個		
		900×1800	- 個		
		躯体ブロック	900×600	- 個	
			900×900	- 個	
	900×1200		2.0 個		
	900×1500		- 個		
	900×1800		- 個		
	底板	有効高130	2.0 個		
設置工	ブロック据付工	H=1.862m	2.0 箇所		
	砕石基礎工		2.0 箇所		
	インバート工		2.0 箇所		
	削孔工	PRP200		4.0 箇所	
		PRP150		- 箇所	
		VU150		- 箇所	
		VU100		- 箇所	
副管設置工	内副管設置工	φ150 H=0.000m (平均)	- 箇所		
		φ100 H=0.000m (平均)	- 箇所		

組立1号マンホール底部工

項目	細別	計 算 式	数 量
	碎石基礎工 (t=0.15m)	$A = \pi / 4 \times 1.10^2$	0.95 m <sup>2</sup>
	インバート工  (コンクリート) 18-8-40BB 下流管中心高 h1=0.16+0.20/2=0.260 上流管中心高 h2=0.16+0.02+0.20/2=0.280 $V = \pi / 4 \times 0.90^2 \times (0.260 + 0.280) / 2$ $- \pi / 4 \times 0.20^2 \times 1/2 \times 0.90$		0.16 m <sup>3</sup>
	(モルタル上塗) 配合1:2 t=20mm	$A = \pi / 4 \times 0.90^2 - 0.20 \times 0.90 + \pi \times 0.20 \times 1/2 \times 0.90$	0.74 m <sup>2</sup>



塩ビ製小型マンホール工  
【Gブロック 補助】







汚水枳及び取付管工  
【Gブロック 補助】

汚水樹及び取付管工数量集計表

種 別	単位	自然石 6-3-10-10	自然石 6-3-10-10	黒いカ 6-3-10-10	黒いカ 6-3-10-10	As 5-10-10	As 5-10-10	Co 10-10	Co 10-10	合 計	備 考		
		BHO. 28 +4t	BHO. 28 +4t	BHO. 13 +2t	BHO. 28 +4t	人力 +小車	BHO. 08 +2t	BHO. 08 +2t	BHO. 13 +2t				
汚水樹設置工	汚水樹	φ200-150×150	個	14		1	14			3	32	樹深 1.50m以下	
取付管工	布設延長	φ150	m	49.10		1.70	51.80			5.00	107.60	(平均) 3.36m	
	接続方法	マンホール接続(3.0m未満)	個			1					3	4	
		マンホール接続(3m以上5m未満)	個										
		マンホール接続(5m以上12m未満)	個					2				2	
		本管接続(3.0m未満)	個	4				5				9	
		本管接続(3m以上5m未満)	個	9				7				16	
		本管接続(5m以上12m未満)	個	1								1	
砂基礎工			m3	10.31		0.29	10.97			0.86	22.43		
舗装撤去工	舗装切断工	As 15cm以下	m										
		Co 15cm以下	m							1.20	1.20		
舗装版破砕工 直接掘削積込工		Co 15cmを越え30cm以下	m	38.28		0.36	44.24				82.88		
		黒いカ 6-3-10	m2			0.14	16.59				16.73		
		自然石 6-3-10	m2	14.36							14.36		
		As t=5cm	m2										
		Co t=10cm	m2							0.45	0.45		
		As t=10cm	m2										
		As t=4cm	m2										
土 工	掘削工		m3	45.90		1.17	40.86			2.00	89.93		
	埋戻工	発生土	m3	33.99		0.85	28.11			1.04	63.99		
	残土処分工		m3	8.13		0.23	9.63			0.84	18.83		
	残塊処分工	As	m3										
仮復旧工		Co	m3	2.73		0.03	3.15			0.05	5.96		
	表層工	密粒度アスコン t=5cm	m2										
路盤	表層工	密粒度アスコン t=3cm	m2	14.36		0.14	16.59			0.45	31.54		
	上層路盤	粒調砕石(M-30) t=12cm	m2	14.36		0.14	16.59				31.09		
	下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-40) t=10cm	m2	14.36		0.14	16.59				31.09		
	下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-40) t=17cm	m2							0.45	0.45		

汚水樹及び取付管工数量計算書（自然石 6-3-10-10） -1

路線 番号	取付 番号	現況石 19cm		仮復旧As 3cm		上層路盤 12cm			下層路盤 10cm				BH 0.28+ 4t	摘要	
		取 付 管 延 長 m	汚 水 樹 深 m	本 管 平 均 掘 削 深 m	境 界 高 低 差 m	境 界 土 工 高 m	本 管 流 入 高 m	平 均 掘 削 深 m	舗装延長						
									控除延長			舗 装 延 長 m			
								本管部 m	宅地部 m	水路等 m					
2124	288	2.20	1.40	1.92	0.02	1.38	1.40	1.49	0.50	1.00	0.69	0.01	本管接続		
2124	287	4.00	1.50	1.92	0.02	1.48	1.52	1.60	0.50	1.00	0.56	1.94	本管接続		
2124	286	2.20	1.40	1.92	0.05	1.35	1.37	1.46	0.50	1.00	0.69	0.01	本管接続		
2124	285	4.00	1.40	1.92	-0.01	1.41	1.45	1.53	0.50	1.00	0.56	1.94	本管接続		
2124	284	2.20	1.40	1.92	-0.01	1.41	1.43	1.52	0.50	1.00	0.69	0.01	本管接続		
2124	283	4.00	1.40	1.92	-0.07	1.47	1.51	1.59	0.50	1.00	0.56	1.94	本管接続		
2124	282	4.00	1.80	1.92	0.33	1.47	1.51	1.59	0.50	1.00	0.56	1.94	本管接続		
2124	281	2.10	1.30	1.92	-0.05	1.35	1.37	1.46	0.50	1.00	0.60	0.00	本管接続		
2124	280	4.00	1.50	1.92	0.03	1.47	1.51	1.59	0.50	1.00	0.56	1.94	本管接続		
2124	279	5.10	1.60	1.92	0.03	1.57	1.62	1.70	0.50	1.00	0.69	2.91	本管接続		
2122	257	4.00	1.40	2.03	0.01	1.39	1.43	1.51	0.50	1.00	0.70	1.80	本管接続		
2120	250	3.70	1.40	2.11	0.01	1.39	1.43	1.51	0.50	1.00	0.70	1.50	本管接続		
2120	248	3.70	1.40	2.11	0.06	1.34	1.38	1.46	0.50	1.00	0.70	1.50	本管接続		
2120	246	3.90	1.60	2.11	0.22	1.38	1.42	1.50	0.50	1.00	0.70	1.70	本管接続		
計	箇所 14	m 49.10						m 21.51	m 7.00	m 14.00	m 8.96	m 19.14	本管接続 マンホール接続	14	

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.28+ 4t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	21.51	÷	14			m	1.54	
舗装部 掘削延長						m	19.14	
未舗装部 掘削延長	14.00	+	8.96			m	22.96	
舗装切断工	19.14	×	2			m	38.28	
舗装版破碎工 Co 19cm	19.14	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	14.36	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.54 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.75				
	0.750 × (1.54 - 0.19) × 19.14	+	0.750 × 1.54 × 22.96			m <sup>3</sup>	45.90	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.75				
取付管延長 49.10 本管控除長 7.00			(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (49.10 - 7.00)			m <sup>3</sup>	10.31	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.54 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.750				
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.750				
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.54 - 0.350			= 1.190				
	0.75 × (1.190 - 0.25) × 19.14	+	0.75 × 1.190 × 22.96			m <sup>3</sup>	33.99	
残土処分工	45.90	-	33.99	÷	0.90	m <sup>3</sup>	8.13	
残塊処分工 Co	14.36	×	0.19			m <sup>3</sup>	2.73	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	19.14	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.54	= 0.75	m <sup>2</sup>	14.36	
上層路盤 t=12cm	19.14	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.54 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	14.36	
下層路盤 t=10cm	19.14	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.54 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	14.36	

**汚水樹及び取付管工数量計算書 (黒レンガ 6-3-10-10) -1**

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

路線 番号	取付 番号	取付 管延 長 m	汚水 樹深 m	本管 平均 掘削 深 m	境界 高低 差 m	境界 土工 高 m	本管 流入 高 m	平均 掘削 深 m	舗装延長				摘 要
									控除延長			舗装 延長 m	
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m		
2121	256	1.70	1.20	1.24	-0.04	1.24	1.26	1.35	0.52	1.00		0.18	人孔接続
計	箇所 1	m 1.70						m 1.35	m 0.52	m 1.00	m 0.18		本管接続 マンホール接続 1

汚水枘及び取付管工 土工計算書 (黒レンガ 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

種 別	枘設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	1.35	÷	1			m	1.35	
舗装部 掘削延長						m	0.18	
未舗装部 掘削延長	1.00	+	0.00			m	1.00	
舗装切断工	0.18	×	2			m	0.36	
舗装版破碎工 Co 19cm	0.18	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	0.14	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.35 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (1.35 - 0.19) × 0.18 + 0.750 × 1.35 × 1.00					m <sup>3</sup>	1.17	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 1.70			(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (1.70 - 0.52)			m <sup>3</sup>	0.29	
本管控除長 0.52								
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.35 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
0.12	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
0.10	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.35 - 0.350		= 1.000					
計 0.25	0.75 × (1.000 - 0.25) × 0.18 + 0.75 × 1.000 × 1.00					m <sup>3</sup>	0.85	
残土処分工	1.17	-	0.85	÷	0.90	m <sup>3</sup>	0.23	
残塊処分工 Co	0.14	×	0.19			m <sup>3</sup>	0.03	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	0.18	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.35	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.14	
上層路盤 t=12cm	0.18	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.35 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.14	
下層路盤 t=10cm	0.18	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.35 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.14	

汚水樹及び取付管工数量計算書（黒レンガ 6-3-10-10）-1

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.28+ 4t

路線 番号	取付 番号	取付管 延長 m	汚水樹 深 m	本管 平均 掘削 深 m	境界 高低 差 m	境界土 工高 m	本管 流入 高 m	平均 掘削 深 m	舗装延長				摘 要	
									控除延長			舗装 延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2124	278	5.10	1.60	1.71	0.03	1.57	1.62	1.70	0.50	1.00	0.56	3.04	人孔接続	
2124	274	6.20	1.30	1.71	-0.06	1.36	1.42	1.49	0.50	1.00	0.70	4.00	人孔接続	
2124	273	4.00	1.50	1.89	0.09	1.41	1.45	1.53	0.50	1.00	0.70	1.80	本管接続	
2124	272	3.40	1.00	1.89		1.00	1.03	1.12	0.50	1.00	0.56	1.34	本管接続	
2124	271	3.40	0.80	1.89	-0.06	0.86	0.89	0.98	0.50	1.00	0.56	1.34	本管接続	
2124	270	4.00	1.50	1.89	0.11	1.39	1.43	1.51	0.50	1.00	0.70	1.80	本管接続	
2124	269	2.70	1.10	1.89	-0.03	1.13	1.16	1.25	0.50	1.00	0.56	0.64	本管接続	
2124	268	4.00	1.30	1.89	-0.03	1.33	1.37	1.45	0.50	1.00	0.70	1.80	本管接続	
2124	267	2.70	0.90	1.89	-0.01	0.91	0.94	1.03	0.50	1.00	0.56	0.64	本管接続	
2124	266	4.00	1.40	1.89	-0.01	1.41	1.45	1.53	0.50	1.00	0.70	1.80	本管接続	
2124	265	2.70	0.90	1.89	-0.01	0.91	0.94	1.03	0.50	1.00	0.56	0.64	本管接続	
2124	264	2.70	1.00	1.89	0.06	0.94	0.97	1.06	0.50	1.00	0.56	0.64	本管接続	
2122	259	2.80	1.20	1.93	0.05	1.15	1.18	1.27	0.50	1.00	0.56	0.74	本管接続	
2122	258	4.10	1.30	1.93	-0.03	1.33	1.37	1.45	0.50	1.00	0.70	1.90	本管接続	
計	箇所 14	m 51.80						m 18.40	m 7.00	m 14.00	m 8.68	m 22.12	本管接続 マンホール接続	12 2

汚水枳及び取付管工 土工計算書 (黒レンガ 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.28+ 4t

種 別	枳設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	18.40	÷	14			m	1.31	
舗装部 掘削延長						m	22.12	
未舗装部 掘削延長	14.00	+	8.68			m	22.68	
舗装切断工	22.12	×	2			m	44.24	
舗装版破碎工 Co 19cm	22.12	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	16.59	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.31 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.75				
	0.750 × (1.31 - 0.19) × 22.12	+	0.750 × 1.31 × 22.68			m <sup>3</sup>	40.86	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.75				
取付管延長 51.80 本管控除長 7.00			(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (51.80 - 7.00)			m <sup>3</sup>	10.97	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.31 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.750				
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2			= 0.750				
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.31 - 0.350			= 0.960				
	0.75 × (0.960 - 0.25) × 22.12	+	0.75 × 0.960 × 22.68			m <sup>3</sup>	28.11	
残土処分工	40.86	-	28.11	÷	0.90	m <sup>3</sup>	9.63	
残塊処分工 Co	16.59	×	0.19			m <sup>3</sup>	3.15	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	22.12	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.31	= 0.75	m <sup>2</sup>	16.59	
上層路盤 t=12cm	22.12	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.31 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	16.59	
下層路盤 t=10cm	22.12	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.31 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	16.59	

### 污水樹及び取付管工数量計算書(Co 10-10)-1

現況Co 10cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 下層路盤 17cm BH 0.13+ 2t

路線 番号	取付 番号	取付 管延 長 m	汚水 樹深 m	本管 平均 掘削 深 m	境界 高低 差 m	境界 土工 高 m	本管 流入 高 m	平均 掘削 深 m	舗装延長				摘 要	
									控除延長			舗装 延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2121 -1	252 -3	1.60	1.00	1.02	0.03	0.97	0.99	1.08	0.50	1.00		0.10	人孔接続	
2121 -1	252 -4	1.40	0.80	0.91	0.33	0.47	0.48	0.58	0.50	0.90		0.00	人孔接続	
2121 -1	251	2.00	0.80	0.76	0.22	0.58	0.60	0.69	0.50	1.00		0.50	人孔接続	
計	箇所 3	m 5.00						m 2.35	m 1.50	m 2.90		m 0.60	本管接続 マンホール接続	3

**汚水柵及び取付管工 土工計算書(Co 10-10)-2**

現況Co 10cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 0cm 下層路盤 17cm BH 0.13+ 2t

種 別	柵設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ 150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	2.35	÷	3			m	0.78	
舗装部 掘削延長						m	0.60	
未舗装部 掘削延長	2.90	+	0.00			m	2.90	
舗装切断工	0.60	×	2			m	1.20	
舗装版破碎工 Co 10cm	0.60	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	0.45	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (0.78 - 0.10)	= 0.750				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	0.750 × (0.78 - 0.10) × 0.60	+	0.750 × 0.78 × 2.90			m <sup>3</sup>	2.00	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
取付管延長 5.00 本管控除長 1.50			(0.750 × 0.350 - (π/4 × 0.150 <sup>2</sup> )) × (5.00 - 1.50)			m <sup>3</sup>	0.86	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.750		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (0.78 - 0.20)	= 0.750				
仮舗装厚 0.03	平均掘削幅 (0.750 + 0.750) ÷ 2		= 0.750					
0.00	平均掘削幅 (0.750 + 0.750) ÷ 2		= 0.750					
0.17	平均掘削幅 - 砂基礎厚 0.78 - 0.350		= 0.430					
計 0.20	0.750 × (0.430 - 0.20) × 0.60	+	0.750 × 0.430 × 2.90			m <sup>3</sup>	1.04	
残土処分工	2.00	-	1.04	÷	0.90	m <sup>3</sup>	0.84	
残塊処分工 Co	0.45	×	0.10			m <sup>3</sup>	0.05	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	0.60	×	0.750	舗装幅 0.75 + 0.00 × 0.78	= 0.750	m <sup>2</sup>	0.45	
上層路盤		×		舗装幅 )	=	m <sup>2</sup>		
下層路盤 t=17cm	0.60	×	0.750	舗装幅 0.75 + 0.00 × (0.78 - 0.20)	= 0.750	m <sup>2</sup>	0.45	

積算資料／開削区間  
【Gブロック 補助】

損料日数及び水替日数計算書；開削工事					
区分	種別	細別	計 算 式	日 数	単位
損料日数	【開削工事】				
	軽量鋼矢板	H=2.0m(1段)	(PRP200, L=64.80m, BH0.08)		
		H=2.0m(1段)	(PRP200, L=3.80m, BH0.13)	1 日	
		H=2.0m(1段)	(PRP200, L=61.10m, BH0.28)	2 日	
		H=2.5m(1段)	(PRP200, L=123.70m, BH0.28)	15 日	
		H=2.5m(2段)	(PRP200, L=65.50m, BH0.28)	8 日	
		H=3.0m(2段)	(PRP200, L=3.40m, BH0.28)		
	素掘り		(PRP200, L=18.00m, 人力)		
			(PRP200, L=31.60m, BH0.08)		
			(PRP200, L=75.80m, BH0.13)		
			(PRP200, L=114.00m, BH0.28)		
水替日数	【開削工事】				
	軽量鋼矢板	H=2.0m(1段)	(PRP200, L=64.80m, BH0.08)		
		H=2.0m(1段)	(PRP200, L=3.80m, BH0.13)	1 日	
		H=2.0m(1段)	(PRP200, L=61.10m, BH0.28)	1 日	
		H=2.5m(1段)	(PRP200, L=123.70m, BH0.28)	5 日	
		H=2.5m(2段)	(PRP200, L=65.50m, BH0.28)	2 日	
		H=3.0m(2段)	(PRP200, L=3.40m, BH0.28)		
	素掘り		(PRP200, L=18.00m, 人力)		
			(PRP200, L=31.60m, BH0.08)		
			(PRP200, L=75.80m, BH0.13)	4 日	
			(PRP200, L=114.00m, BH0.28)		
				計	13 日
交通整理					
日数	軽量鋼矢板	H=2.0m(1段)	(PRP200, L=64.80m, BH0.08)		
		H=2.0m(1段)	(PRP200, L=3.80m, BH0.13)	1 日	
		H=2.0m(1段)	(PRP200, L=61.10m, BH0.28)	2 日	
		H=2.5m(1段)	(PRP200, L=123.70m, BH0.28)	15 日	
		H=2.5m(2段)	(PRP200, L=65.50m, BH0.28)	8 日	
		H=3.0m(2段)	(PRP200, L=3.40m, BH0.28)		
	素掘り		(PRP200, L=18.00m, 人力)		
			(PRP200, L=31.60m, BH0.08)		
			(PRP200, L=75.80m, BH0.13)	7 日	
			(PRP200, L=114.00m, BH0.28)		
				計	33 日

### 工程日数算出表

設計条件		工 区		Gブロック補助					
		軽量鋼矢板	2.0 mH	掘削	BH	0.28	m3		
		支保工	1 段	砂基礎	BH	0.28	m3		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工		12.92	m3		
		施工延長	8.50 m	砕石基礎工		2.85	m3		
		転用スパン	30.00 m	埋戻工		9.01	m3		
種 別	工 種	計 算 式						実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.00 日 (下水歩掛P41) = 50.00 m/日						1.55	2.60
		30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日							
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 0.60 日 (下水歩掛P50) = 166.67 m/日							
		30.00 ÷ 166.67 m/日 = 0.18 日							
掘 削	12.92 m <sup>3</sup> ÷ 8.50 m × 30.00 m = 45.60 m <sup>3</sup>								
	45.60 m <sup>3</sup> ÷ 59.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 0.77 日								
土留工+掘削		= 1.55 日							
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	2.85 m <sup>3</sup> ÷ 8.50 m × 30.00 m = 10.06 m <sup>3</sup>						0.75	1.30
		10.06 m <sup>3</sup> ÷ 85.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.12 日							
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日							
		2.85 m <sup>3</sup> ÷ 8.50 m × 30.00 m = 10.06 m <sup>3</sup>							
管 布 設 工	10.06 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.15 日								
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日								
砕石基礎+管布設		30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日							
埋戻工		0.15 日 + 0.60 日 = 0.75 日							
c 工程	埋戻工 (機械投入)	9.01 m <sup>3</sup> ÷ 8.50 m × 30.00 m = 31.80 m <sup>3</sup>						0.48	0.80
		31.80 m <sup>3</sup> ÷ 85.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.37 日							
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日							
		9.01 m <sup>3</sup> ÷ 8.50 m × 30.00 m = 31.80 m <sup>3</sup>							
埋戻工		31.80 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.48 日							
埋戻工		= 0.48 日							
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日						0.42	0.70
		30.00 m ÷ 111.11 m/日 = 0.27 日							
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 0.50 日 (下水歩掛P51) = 200.00 m/日							
		30.00 ÷ 200.00 m/日 = 0.15 日							
土留工+掘削		= 0.42 日							

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	8.5m ÷ 30m =	0.3 回	≒	1 回
・ 土留賃料日数(30m)	(2.6+1/2×1.3+0.7) =	3.95 日		
・ 土留供用日数	0.3×3.95 =	1.2 日	≒	2 日
・ 水替え日数	(1.55+max(0.48, 0.42))/2 =	1 日	× 0.3回 =	0.3 日 ≒ 1日
・ 交通整理員実日数	1.2 ÷ 1 =	1.2 日	≒	2 日

### 工程日数算出表

設計条件		工 区	Gブロック補助			
		軽量鋼矢板	2.0 mH	掘削 BH	0.13 m3	
		支保工	1 段	砂基礎 BH	0.13 m3	
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	4.72 m3	
		施工延長	3.80 m	砕石基礎工	1.07 m3	
		転用スパン	3.80 m	埋戻工	3.20 m3	
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.00 日 (下水歩掛P41) = 50.00 m/日			0.21	0.40
		3.80 m ÷ 50.00 m/日 = 0.08 日				
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 0.60 日 (下水歩掛P50) = 166.67 m/日				
		3.80 ÷ 166.67 m/日 = 0.02 日				
掘 削	4.72 m <sup>3</sup> ÷ 3.80 m × 3.80 m = 4.72 m <sup>3</sup>					
	4.72 m <sup>3</sup> ÷ 44.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 0.11 日					
土留工+掘削		= 0.21 日				
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	1.07 m <sup>3</sup> ÷ 3.80 m × 3.80 m = 1.07 m <sup>3</sup>			0.10	0.20
		1.07 m <sup>3</sup> ÷ 65.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.02 日				
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日				
		1.07 m <sup>3</sup> ÷ ( 3.80 m × 3.80 m = 1.07 m <sup>3</sup> 1.07 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.02 日				
管 布 設 工	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日					
	3.80 m ÷ 50.00 m/日 = 0.08 日					
砕石基礎+管布設		0.02 日 + 0.08 日 = 0.10 日				
c 工程	埋戻工 (機械投入)	3.20 m <sup>3</sup> ÷ 3.80 m × 3.80 m = 3.20 m <sup>3</sup>			0.05	0.10
		3.20 m <sup>3</sup> ÷ 65.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.05 日				
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日				
		3.20 m <sup>3</sup> ÷ ( 3.80 m × 3.80 m = 3.20 m <sup>3</sup> 3.20 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.05 日				
埋戻工		= 0.05 日				
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日			0.05	0.10
		3.80 m ÷ 111.11 m/日 = 0.03 日				
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 0.50 日 (下水歩掛P51) = 200.00 m/日				
		3.80 ÷ 200.00 m/日 = 0.02 日				
土留工+掘削		= 0.05 日				

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	3.8m ÷ 3.8m =	1 回	≒	1 回
・ 土留賃料日数(30m)	(0.4+1/2×0.2+0.1) =	0.60 日		
・ 土留供用日数	1×0.6 =	0.6 日	≒	1 日
・ 水替え日数	(0.21+max(0.05, 0.05))/2 =	0.1 日	× 1.0回 =	0.1 日 ≒ 1日
・ 交通整理員実日数	0.6 ÷ 1 =	0.6 日	≒	1 日

### 工程日数算出表

設計条件		工 区		Gブロック補助			
		軽量鋼矢板	2.5 mH	掘削	BH 0.28 m3		
		支保工	2 段	砂基礎	BH 0.28 m3		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	79.16 m3		
		施工延長	41.50 m	砕石基礎工	15.05 m3		
		転用スパン	30.00 m	埋戻工	60.07 m3		
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.40 日 (下水歩掛P41) = 41.67 m/日				2.05	3.50
		30.00 m ÷ 41.67 m/日 = 0.72 日					
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 1.20 日 (下水歩掛P50) = 83.33 m/日					
		30.00 ÷ 83.33 m/日 = 0.36 日					
掘 削	79.16 m <sup>3</sup> ÷ 41.50 m × 30.00 m = 57.22 m <sup>3</sup>						
	57.22 m <sup>3</sup> ÷ 59.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 0.97 日						
土留工+掘削		= 2.05 日					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	15.05 m <sup>3</sup> ÷ 41.50 m × 30.00 m = 10.88 m <sup>3</sup>				0.76	1.30
		10.88 m <sup>3</sup> ÷ 85.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.13 日					
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ <sup>3</sup> 締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		15.05 m <sup>3</sup> ÷ 41.50 m × 30.00 m = 10.88 m <sup>3</sup>					
管 布 設 工	10.88 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.16 日						
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日						
砕石基礎+管布設		30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日					
埋戻工		0.16 日 + 0.60 日 = 0.76 日					
c 工程	埋戻工 (機械投入)	60.07 m <sup>3</sup> ÷ 41.50 m × 30.00 m = 43.42 m <sup>3</sup>				0.66	1.10
		43.42 m <sup>3</sup> ÷ 85.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.51 日					
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ <sup>3</sup> 締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		60.07 m <sup>3</sup> ÷ 41.50 m × 30.00 m = 43.42 m <sup>3</sup>					
埋戻工		43.42 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.66 日					
埋戻工		= 0.66 日					
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日				0.57	1.00
		30.00 m ÷ 111.11 m/日 = 0.27 日					
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 1.00 日 (下水歩掛P51) = 100.00 m/日					
		30.00 ÷ 100.00 m/日 = 0.30 日					
土留工+掘削		= 0.57 日					

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械 (タンパ) を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械 (タンパ) を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	41.5m ÷ 30m =	1.4 回	≒	2 回
・ 土留賃料日数 (30m)	(3.5+1/2×1.3+1) =	5.15 日		
・ 土留供用日数	1.4×5.15 =	7.2 日	≒	8 日
・ 水替え日数	(2.05+max(0.66, 0.57))/2 =	1.4 日	× 1.4回 =	2.0 日 ≒ 2日
・ 交通整理員実日数	7.2 ÷ 1 =	7.2 日	≒	8 日

工程日数算出表

設計条件	工 区		Gブロック補助			
	軽量鋼矢板	2.5 mH	掘削	BH 0.28 m3		
	支保工	1 段	砂基礎	BH 0.28 m3		
	管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	175.45 m3		
	施工延長	101.90 m	砕石基礎工	36.78 m3		
	転用スパン	30.00 m	埋戻工	128.59 m3		
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.40 日 (下水歩掛P41) = 41.67 m/日			1.78	3.00
		30.00 m ÷ 41.67 m/日 = 0.72 日				
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 0.60 日 (下水歩掛P50) = 166.67 m/日				
		30.00 ÷ 166.67 m/日 = 0.18 日				
掘 削	175.45 m <sup>3</sup> ÷ 101.90 m × 30.00 m = 51.65 m <sup>3</sup>					
	51.65 m <sup>3</sup> ÷ 59.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 0.88 日					
土留工+掘削		= 1.78 日				
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	36.78 m <sup>3</sup> ÷ 101.90 m × 30.00 m = 10.83 m <sup>3</sup>			0.76	1.30
		10.83 m <sup>3</sup> ÷ 85.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.13 日				
	砕石基礎工(転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日				
		36.78 m <sup>3</sup> ÷ 101.90 m × 30.00 m = 10.83 m <sup>3</sup>				
管 布 設 工	10.83 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.16 日					
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日					
砕石基礎+管布設	30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日					
	0.16 日 + 0.60 日 = 0.76 日					
c 工程	埋戻工 (機械投入)	128.59 m <sup>3</sup> ÷ 101.90 m × 30.00 m = 37.86 m <sup>3</sup>			0.57	1.00
		37.86 m <sup>3</sup> ÷ 85.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.45 日				
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日				
		128.59 m <sup>3</sup> ÷ 101.90 m × 30.00 m = 37.86 m <sup>3</sup>				
埋戻工	37.86 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.57 日					
	= 0.57 日					
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日			0.42	0.70
		30.00 m ÷ 111.11 m/日 = 0.27 日				
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 0.50 日 (下水歩掛P51) = 200.00 m/日				
		30.00 ÷ 200.00 m/日 = 0.15 日				
土留工+掘削		= 0.42 日				

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

算定結果

・ 土留転用回数	101.9m ÷ 30m = 3.4 回 ≒ 4 回
・ 土留賃料日数(30m)	(3+1/2×1.3+0.7) = 4.35 日
・ 土留供用日数	3.4×4.35 = 14.8 日 ≒ 15 日
・ 水替え日数	(1.78+max(0.57, 0.42))/2 = 1.2 日 × 3.4回 = 4.1 日 ≒ 5日
・ 交通整理員実日数	14.8 ÷ 1 = 14.8 日 ≒ 15 日

工程日数算出表

設計条件 素掘	工 区	Gブロック補助				
		掘削	BH	0.13 m3		
		砂基礎	BH	0.13 m3		
	管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	53.94 m3		
	施工延長	75.80 m	砕石基礎工	22.36 m3		
		埋戻工	22.38 m3			
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	掘 削				1.23	2.10
		$53.94 \text{ m}^3 \div 44.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P16}) = 1.23 \text{ 日}$ $= 1.23 \text{ 日}$				
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	$22.36 \text{ m}^3 \div 65.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P20}) = 0.34 \text{ 日}$			2.20	3.70
	砕石基礎工(転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 33.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{共通編PI-147}) = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$				
		$22.36 \text{ m}^3 \div 33.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.68 \text{ 日}$				
	管 布 設 工	$10.00 \text{ m} \div 0.20 \text{ 人} (\text{下水歩掛参H25, P4}) = 50.00 \text{ m}/\text{日}$				
$75.80 \text{ m} \div 50.00 \text{ m}/\text{日} = 1.52 \text{ 日}$						
砕石基礎+管布設		$0.68 \text{ 日} + 1.52 \text{ 日} = 2.20 \text{ 日}$				
c 工程	埋戻工 (機械投入)	$22.38 \text{ m}^3 \div 65.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P20}) = 0.34 \text{ 日}$			0.68	1.20
	埋戻工 (転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 33.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{共通編PI-147}) = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$				
		$22.38 \text{ m}^3 \div 33.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.68 \text{ 日}$				
埋戻工		$= 0.68 \text{ 日}$				
d 工程						

※) a 工程 : 掘削とする

b 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

c 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。

算定結果

・ 施工日数	$(2.1+3.7+1.2) =$	7.00 日	≒	7 日
・ 水替え日数	$1/2 \times 1.23 + 2.2 + 1/2 \times 0.68$	3.16 日	≒	4 日
・ 交通整理員実日数	$7 \div 1 =$	7 日	≒	7 日

**管路（開削、单独）総括表**  
【单独】φ200、Φ150

# 設 計 数 量 総 括 表

開削工(土工)

費目 1	工種 2	種別 3	細別 4	規 格	形 状 寸 法	単 位	数 量				計	設計 数量	摘 要
							Aブロックφ 200	Aブロックφ 150	Fブロック	Gブロック			
管路(開削、補助)													
管きょ工(開削)													
管路土工													
管路掘削													
				機械掘削	バックホウ0.28m3	m3	—	—	—	83.7	83.7	84	
				機械掘削	バックホウ0.13m3	m3	8.3	—	19.4	—	27.7	28	
				機械掘削	バックホウ0.08m3	m3	39.7	—	—	—	39.7	40	
				人力掘削		m3	—	4.0	—	25.8	29.7	30	
管路埋戻し													
				機械埋戻	バックホウ0.28m3 流用土	m3	—	—	—	64.4	64.4	64	
				機械埋戻	バックホウ0.13m3 流用土	m3	5.1	—	12.8	—	17.9	18	
				機械埋戻	バックホウ0.08m3 流用土	m3	25.5	—	—	—	25.5	26	
				人力埋戻	流用土	m3	—	1.2	—	14.7	15.9	16	
発生土処理													
				土砂運搬	BH0.28m3+DT4t L=0.5km	m3	—	—	—	83.7	83.7	84	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	—	—	—	71.6	71.6	72	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	—	—	—	71.6	71.6	72	仮置場→現場
				土砂運搬	BH0.13+DT2t L=0.5km	m3	8.3	—	19.4	—	27.7	28	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	5.6	—	14.3	—	19.9	20	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	5.6	—	14.3	—	19.9	20	仮置場→現場
				土砂運搬	BH0.08+DT2t L=0.5km	m3	39.7	—	—	—	39.7	40	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	28.4	—	—	—	28.4	28	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	28.4	—	—	—	28.4	28	仮置場→現場
				土砂運搬	人力 L=0.5km	m3	—	4.0	—	25.8	29.7	30	現場→仮置場







## 設 計 数 量 総 括 表

開削工(取付管)

費目	工種	種別	細別	規格	形状寸法	単位	数量				計	設計数量	摘要
							Aブロックφ200	Aブロックφ150	Fブロック	Gブロック			
1	2	3	4										
管路(開削、補助)													
取付管およびます工													
管路土工													
管路掘削													
				機械掘削	バックホウ0.28m3	m3	—	—	—	15.0	15.0	15	
				機械掘削	バックホウ0.13m3	m3	2.5	—	3.2	—	5.7	6	
				機械掘削	バックホウ0.08m3	m3	5.1	—	—	—	5.1	5	
				人力掘削		m3	—	0.6	—	6.9	7.5	8	
管路埋戻し													
				機械埋戻	バックホウ0.28m3 流用土	m3	—	—	—	11.6	11.6	12	
				機械埋戻	バックホウ0.13m3 流用土	m3	1.6	—	2.3	—	3.9	4	
				機械埋戻	バックホウ0.08m3 流用土	m3	3.2	—	—	—	3.2	3	
				人力埋戻	流用土	m3	—	0.4	—	3.4	3.8	4	
				機械埋戻	バックホウ0.28m3 再生砂	m3	—	—	—	3.0	3.0	3	
				機械埋戻	バックホウ0.13m3 再生砂	m3	0.8	—	0.9	—	1.7	2	
				機械埋戻	バックホウ0.08m3 再生砂	m3	1.6	—	—	—	1.6	2	
				人力埋戻	再生砂	m3	—	0.2	—	3.0	3.2	3	
発生土処理													
				土砂運搬	BH0.28m3+DT4t L=0.5km	m3	—	—	—	15.0	15.0	15	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	—	—	—	12.8	12.8	13	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	—	—	—	12.8	12.8	13	仮置場→現場
				土砂運搬	BH0.13+DT2t L=0.5km	m3	2.5	—	3.2	—	5.7	6	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	1.8	—	2.5	—	4.3	4	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	1.8	—	2.5	—	4.3	4	仮置場→現場
				土砂運搬	BH0.08+DT2t L=0.5km	m3	5.1	—	—	—	5.1	5	現場→仮置場
				積込(ルーズ)		m3	3.6	—	—	—	3.6	4	
				土砂運搬	L=0.5km	m3	3.6	—	—	—	3.6	4	仮置場→現場
				土砂運搬	人力 L=0.5km	m3	—	0.6	—	6.9	7.5	8	現場→仮置場



## 設 計 数 量 総 括 表

開削工(付帯工)

費目 1	工種 2	種別 3	細別 4	規 格	形 状 寸 法	単 位	数 量				計	設計 数量	摘 要
							Aブロックφ 200	Aブロックφ 150	Fブロック	Gブロック			
管路(開削、補助)													
付帯工													
舗装撤去工													
舗装版切断													
				舗装版切断	アスファルト t = 15cm以下	m	18.0	3.2	—	—	21.2	21	
				舗装版切断	コンクリート t = 15cm以下	m	—	16.0	—	74.0	90.0	90	
				舗装版切断	コンクリート t = 15cmを越え30cm以下	m	63.6	—	33.8	95.6	193.0	193	
舗装版破砕													
				舗装版破砕	黒いが 6-3-10	m2	—	—	—	4.0	4.0	4	
				舗装版破砕	自然石 6-3-10	m2	30.7	—	18.3	42.3	91.4	91	
					アスファルト t=5cm	m2	9.1	1.2	0.0	0.0	10.3	10	
					コンクリート t=10cm	m2	—	5.6	—	30.7	36.3	36	
					アスファルト t=10cm	m2	—	—	—	—	—	0	
					アスファルト t=4cm	m2	—	—	—	—	—	0	
殻運搬処理													
				殻運搬	アスファルト殻	m3	0.5	0.06	—	—	0.5	1.0	
				殻運搬	コンクリート殻	m3	5.8	0.6	3.5	11.9	21.8	22	
				処分費	アスファルト殻	m3	1.1	0.1	—	—	1.2	1.0	
				処分費	コンクリート殻	m3	13.7	1.3	8.2	27.9	51.1	51	
道路復旧工													
下層路盤													
				下層路盤	再生クラッシャーラン RC-40 t = 10cm	m2	39.9	1.2	18.3	46.3	105.7	106	
				下層路盤	再生クラッシャーラン RC-40 t = 17cm	m2	—	5.6	—	30.7	36.3	36	
上層路盤													
				上層路盤	粒調砕石 M-30 t = 12cm	m2	39.9	1.2	18.3	46.3	105.7	106	







管布設工  
【Aブロック 単独】φ200







管布設工数量計算書 (PRPφ200)

路線 番号	人孔 番号	路線 延長	人孔 減長	管体 延長	掘削 幅	掘削 勾配	掘削 深	平均掘削 深	舗装 種別	掘削時 表層厚	復旧時 表層厚	上層路 盤厚	下層路 盤厚	管径	基礎埋 戻厚	掘削 種別	掘削土量			碎石埋戻(A)			発生土埋戻(B)			残土量			PRPφ200		可とう 継手	土留 種別	備考					
																	人力	機械		人力	機械		人力	機械		人力	機械		片受直管	PE直管								
																		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3										
		m	m	m	m		m	m		m	m	m	m	m	m			m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	本	m	個						
土 留 別 小 計	建2.0																																					
	建2.5																																					
	建3.0																																					
	建3.5																																					
	建4.0																																					
	軽2.0(1)	22.00	0.15	21.85															31.35			7.62			21.74			7.19	6									
	軽2.5(1)																																					
	軽2.5(2)																																					
	軽3.0(2)																																					
	軽3.5(2)																																					
	ア2.0(1)																																					
	ア2.5(1)																																					
	ア2.5(2)																																					
	ア3.0(2)																																					
ア3.5(2)																																						
素掘り	16.50	0.60	15.90															8.25	8.34		2.35	2.50		5.08	3.79		2.61	4.13	5									
合計		38.50	0.75	37.75														8.25	39.69		2.35	10.12		5.08	25.53		2.61	11.32	11									

付帯工  
【Aブロック 単独】φ200











塩ビ製小型マンホール工  
【Aブロック 単独】φ200





汚水枳及び取付管工  
【Aブロック 単独】φ200



### 汚水樹及び取付管工数量計算書 (自然石 6-3-10-10) -1

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.08+ 2t

路線番号	取付番号	取付管延長 m	汚水樹深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長				摘要	
									控除延長			舗装延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2281-1	34	1.90	1.00	1.69	0.12	0.88	0.90	0.99	0.48	1.00	0.25	0.17	本管接続	
2281-1	35	1.90	0.90	1.69	-0.04	0.94	0.96	1.05	0.48	1.00	0.25	0.17	本管接続	
2281-1	36	2.70	1.60	1.69	0.21	1.39	1.42	1.51	0.48	1.00		1.22	人孔接続	
計	箇所 3	m 6.50						m 3.55	m 1.44	m 3.00	m 0.50	m 1.56	本管接続 マンホール接続	2 1

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.08+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	3.55	÷	3			m	1.18	
舗装部 掘削延長						m	1.56	
未舗装部 掘削延長	3.00	+	0.50			m	3.50	
舗装切断工	1.56	×	2			m	3.12	
舗装版破碎工 Co 19cm	1.56	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	1.17	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.18 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (1.18 - 0.19) × 1.56 + 0.750 × 1.18 × 3.50					m <sup>3</sup>	4.26	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 6.50 本管控除長 1.44	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (6.50 - 1.44)					m <sup>3</sup>	1.24	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.18 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.18 - 0.350		= 0.830					
	0.75 × (0.830 - 0.25) × 1.56 + 0.75 × 0.830 × 3.50					m <sup>3</sup>	2.86	
残土処分工	4.26	-	2.86	÷	0.90	m <sup>3</sup>	1.08	
残塊処分工 Co	1.17	×	0.19			m <sup>3</sup>	0.22	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	1.56	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.18	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.17	
上層路盤 t=12cm	1.56	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.18 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.17	
下層路盤 t=10cm	1.56	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.18 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	1.17	

**汚水樹及び取付管工数量計算書 (自然石 6-3-10-10) -1**

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

路線番号	取付番号	取付管延長 m	汚水樹深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長				摘要	
									控除延長			舗装延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2229	17	2.30	0.90	1.32		0.90	0.92	1.01	0.53	1.00	0.56	0.21	人孔接続	
2229	18	2.10	0.80	1.32	-0.08	0.88	0.90	0.99	0.53	1.00	0.56	0.01	本管接続	
計	箇所 2	m 4.40						m 2.00	m 1.06	m 2.00	m 1.12	m 0.22	本管接続 マンホール接続	1 1

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下 計 算 式 管 径 = φ150				単位	数 量	備 考
平均掘削深	$2.00 \div 2$				m	1.00	
舗装部 掘削延長					m	0.22	
未舗装部 掘削延長	$2.00 + 1.12$				m	3.12	
舗装切断工	$0.22 \times 2$				m	0.44	
舗装版破碎工 Co 19cm	$0.22 \times 0.750$ 舗装幅 = 0.750				m <sup>2</sup>	0.17	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75 掘削幅 (上部) $0.75 + 0.00 \times (1.00 - 0.19) = 0.75$						
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 $(0.75 + 0.75) \div 2 = 0.75$						
	$0.750 \times (1.00 - 0.19) \times 0.22 + 0.750 \times 1.00 \times 3.12$				m <sup>3</sup>	2.47	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75 掘削幅 (上部) $0.75 + 0.00 \times 0.350 = 0.750$						
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 $(0.75 + 0.75) \div 2 = 0.75$						
取付管延長 4.40 本管控除長 1.06	$(0.75 \times 0.350 - (\pi/4 \times 0.15^2)) \times (4.40 - 1.06)$				m <sup>3</sup>	0.82	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75 掘削幅 (上部) $0.75 + 0.00 \times (1.00 - 0.25) = 0.75$						
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 $(0.75 + 0.75) \div 2 = 0.750$						
計 0.25	平均掘削幅 $(0.75 + 0.75) \div 2 = 0.750$						
	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.00 - 0.350 = 0.650						
	$0.75 \times (0.650 - 0.25) \times 0.22 + 0.75 \times 0.650 \times 3.12$				m <sup>3</sup>	1.59	
残土処分工	$2.47 - 1.59 \div 0.90$				m <sup>3</sup>	0.70	
残塊処分工 Co	$0.17 \times 0.19$				m <sup>3</sup>	0.03	
仮復旧							
仮復旧工 As 3cm	$0.22 \times 0.75$ 舗装幅 $0.75 + 0.00 \times 1.00 = 0.75$				m <sup>2</sup>	0.17	
上層路盤 t=12cm	$0.22 \times 0.75$ 舗装幅 $0.75 + 0.00 \times (1.00 - 0.15) = 0.75$				m <sup>2</sup>	0.17	
下層路盤 t=10cm	$0.22 \times 0.75$ 舗装幅 $0.75 + 0.00 \times (1.00 - 0.25) = 0.75$				m <sup>2</sup>	0.17	



汚水樹及び取付管工 土工計算書 (As 5-10-10) -2

現況As 5cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.08+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	0.76	÷	1			m	0.76	
舗装部 掘削延長						m	0.49	
未舗装部 掘削延長	1.00	+	0.00			m	1.00	
舗装切断工	0.49	×	2			m	0.98	
舗装版破碎工 As 5cm	0.49	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	0.37	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (0.76 - 0.05)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (0.76 - 0.05) × 0.49 + 0.750 × 0.76 × 1.00					m <sup>3</sup>	0.83	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 2.00 本管控除長 0.51	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (2.00 - 0.51)					m <sup>3</sup>	0.36	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (0.76 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 0.76 - 0.350		= 0.410					
	0.75 × (0.410 - 0.25) × 0.49 + 0.75 × 0.410 × 1.00					m <sup>3</sup>	0.37	
残土処分工	0.83	-	0.37	÷	0.90	m <sup>3</sup>	0.42	
残塊処分工 As	0.37	×	0.05			m <sup>3</sup>	0.02	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	0.49	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 0.76	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.37	
上層路盤 t=12cm	0.49	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (0.76 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.37	
下層路盤 t=10cm	0.49	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (0.76 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.37	

積算資料／開削区間  
【Aブロック 単独】φ200



### 工程日数算出表

設計条件		工 区	Aブロック単独φ200			
		軽量鋼矢板	2.0 mH	掘削	BH 0.08 m3	
		支保工	1 段	砂基礎	BH 0.08 m3	
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	31.35 m3	
		施工延長	22.00 m	碎石基礎工	7.62 m3	
		転用スパン	22.00 m	埋戻工	21.74 m3	
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	$100.00 \text{ m} \div 2.00 \text{ 日 (下水歩掛P41)} = 50.00 \text{ m/日}$ $22.00 \text{ m} \div 50.00 \text{ m/日} = 0.44 \text{ 日}$			1.40	2.40
	支保工 (設置)	$100.00 \text{ m} \div 0.60 \text{ 日 (下水歩掛P50)} = 166.67 \text{ m/日}$ $22.00 \div 166.67 \text{ m/日} = 0.13 \text{ 日}$				
	掘 削	$31.35 \text{ m}^3 \div 22.00 \text{ m} \times 22.00 \text{ m} = 31.35 \text{ m}^3$ $31.35 \text{ m}^3 \div 38.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P16)} = 0.83 \text{ 日}$				
	土留工+掘削	= 1.40 日				
b 工程	碎石基礎工(機械投入)	$7.62 \text{ m}^3 \div 22.00 \text{ m} \times 22.00 \text{ m} = 7.62 \text{ m}^3$ $7.62 \text{ m}^3 \div 57.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P20)} = 0.13 \text{ 日}$			0.57	1.00
	碎石基礎工(転圧作業)	タンパ締固め $33.00 \text{ m}^3/\text{日 (共通編PI-147)} = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$ $7.62 \text{ m}^3 \div 22.00 \text{ m} \times 22.00 \text{ m} = 7.62 \text{ m}^3$ $7.62 \text{ m}^3 \div (33.00 \text{ m}^3/\text{日} \times 2.00 \text{ 台}) = 0.12 \text{ 日}$				
	管 布 設 工	$10.00 \text{ m} \div 0.20 \text{ 人 (下水歩掛H25, P4)} = 50.00 \text{ m/日}$ $22.00 \text{ m} \div 50.00 \text{ m/日} = 0.44 \text{ 日}$				
	碎石基礎+管布設	$0.13 \text{ 日} + 0.44 \text{ 日} = 0.57 \text{ 日}$				
c 工程	埋戻工 (機械投入)	$21.74 \text{ m}^3 \div 22.00 \text{ m} \times 22.00 \text{ m} = 21.74 \text{ m}^3$ $21.74 \text{ m}^3 \div 57.00 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P20)} = 0.38 \text{ 日}$			0.38	0.60
	埋戻工 (転圧作業)	タンパ締固め $33.00 \text{ m}^3/\text{日 (共通編PI-147)} = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$ $21.74 \text{ m}^3 \div 22.00 \text{ m} \times 22.00 \text{ m} = 21.74 \text{ m}^3$ $21.74 \text{ m}^3 \div (33.00 \text{ m}^3/\text{日} \times 2.00 \text{ 台}) = 0.33 \text{ 日}$				
	埋戻工	= 0.38 日				
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	$100.00 \text{ m} \div 0.90 \text{ 日 (下水歩掛P41)} = 111.11 \text{ m/日}$ $22.00 \text{ m} \div 111.11 \text{ m/日} = 0.20 \text{ 日}$			0.31	0.50
	支保工 (撤去)	$100.00 \text{ m} \div 0.50 \text{ 日 (下水歩掛P51)} = 200.00 \text{ m/日}$ $22.00 \div 200.00 \text{ m/日} = 0.11 \text{ 日}$				
	土留工+掘削	= 0.31 日				

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンパ)を2台使用する。  
           機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

• 土留転用回数	$22\text{m} \div 22\text{m} = 1 \text{ 回} \approx 1 \text{ 回}$
• 土留賃料日数(30m)	$(2.4+1/2 \times 1+0.5) = 3.4 \text{ 日}$
• 土留供用日数	$1 \times 3.4 = 3.4 \text{ 日} \approx 4 \text{ 日}$
• 水替え日数	$(1.4+\max(0.38, 0.31)) \div 2 = 0.9 \text{ 日} \times 1.0 \text{ 回} = 0.9 \text{ 日} \approx 1 \text{ 日}$
• 交通整理員実日数	$3.4 \div 1 = 3.4 \text{ 日} \approx 4 \text{ 日}$

### 工程日数算出表

設計条件		工 区	Aブロック単独φ200			
素掘			掘削	BH 0.13 m <sup>3</sup>		
			砂基礎	BH 0.13 m <sup>3</sup>		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	8.25 m <sup>3</sup>	
		施工延長	8.00 m	砕石基礎工	2.35 m <sup>3</sup>	
			埋戻工	5.08 m <sup>3</sup>		
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	掘 削				0.19	0.30
		$8.25 \text{ m}^3 \div 44.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P16}) = 0.19 \text{ 日}$ $= 0.19 \text{ 日}$				
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	$2.35 \text{ m}^3 \div 65.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P20}) = 0.04 \text{ 日}$			0.23	0.40
	砕石基礎工(転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 33.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{共通編PI-147}) = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$				
		$2.35 \text{ m}^3 \div 33.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.07 \text{ 日}$				
	管 布 設 工	$10.00 \text{ m} \div 0.20 \text{ 人} (\text{下水歩掛参H25, P4}) = 50.00 \text{ m}/\text{日}$				
$8.00 \text{ m} \div 50.00 \text{ m}/\text{日} = 0.16 \text{ 日}$						
砕石基礎+管布設		$0.07 \text{ 日} + 0.16 \text{ 日} = 0.23 \text{ 日}$				
c 工程	埋戻工 (機械投入)	$5.08 \text{ m}^3 \div 65.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P20}) = 0.08 \text{ 日}$			0.15	0.30
	埋戻工 (転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 33.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{共通編PI-147}) = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$				
		$5.08 \text{ m}^3 \div 33.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.15 \text{ 日}$				
埋戻工		$= 0.15 \text{ 日}$				
d 工程						

※) a 工程 : 掘削とする

b 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

c 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。

#### 算定結果

・ 施工日数	$(0.3+0.4+0.3) =$	1.00 日	≒	1 日
・ 水替え日数	$1/2 \times 0.19 + 0.23 + 1/2 \times 0.15$	0.4 日	≒	1 日
・ 交通整理員実日数	$1 \div 1 =$	0.9 日	≒	1 日

工程日数算出表

設計条件 素掘	工 区	Aブロック単独φ200				
			掘削	BH 0.08 m <sup>3</sup>		
			砂基礎	BH 0.08 m <sup>3</sup>		
	管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	8.34 m <sup>3</sup>		
	施工延長	8.50 m	砕石基礎工	2.50 m <sup>3</sup>		
		埋戻工	3.79 m <sup>3</sup>			
種 別	工 種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	掘 削	8.34 m <sup>3</sup> ÷ 38.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 0.22 日			0.22	0.40
		= 0.22 日				
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	2.50 m <sup>3</sup> ÷ 57.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.04 日			0.25	0.40
	砕石基礎工(転圧作業)	タンバ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日				
		2.50 m <sup>3</sup> ÷ 33.00 m <sup>3</sup> /日 = 0.08 日				
	管 布 設 工	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛参H25, P4) = 50.00 m/日				
8.50 m ÷ 50.00 m/日 = 0.17 日						
砕石基礎+管布設		0.08 日 + 0.17 日 = 0.25 日				
c 工程	埋戻工 (機械投入)	3.79 m <sup>3</sup> ÷ 57.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.07 日			0.11	0.20
	埋戻工 (転圧作業)	タンバ締固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日				
		3.79 m <sup>3</sup> ÷ 33.00 m <sup>3</sup> /日 = 0.11 日				
埋戻工		= 0.11 日				
d 工程						

※) a 工程 : 掘削とする

b 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

c 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。

算定結果

・ 施工日数	(0.4+0.4+0.2) =	1.00 日	≒	1 日
・ 水替え日数	1/2×0.22+0.25+1/2×0.11	0.42 日	≒	1 日
・ 交通整理員実日数	1 ÷ 1 =	1 日	≒	1 日

管布設工  
【Aブロック 単独】φ150





管布設工数量計算書 (PRPφ150)

路線 番号	人孔 番号	路線 延長	人孔 減長	管体 延長	掘削 幅	掘削 勾配	掘削 深	平均掘削 深	舗装 種別	掘削時 表層厚	復旧時 表層厚	上層路 盤厚	下層路 盤厚	管径	基礎埋 戻厚	掘削 種別	掘削土量			碎石埋戻(A)			発生土埋戻(B)			残土量			PRPφ150		可とう 継手	土留 種別	備考								
																	人力	機械		人力	機械		人力	機械		人力	機械		片受直管	PE直管											
																		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3		0.13m3	0.08m3													
		m	m	m	m		m	m		m	m	m	m	m	m			m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	本	m	個									
土 留 別 小 計	建2.0																																								
	建2.5																																								
	建3.0																																								
	建3.5																																								
	建4.0																																								
	軽2.0(1)																																								
	軽2.5(1)																																								
	軽2.5(2)																																								
	軽3.0(2)																																								
	軽3.5(2)																																								
	ア2.0(1)																																								
	ア2.5(1)																																								
	ア2.5(2)																																								
	ア3.0(2)																																								
ア3.5(2)																																									
素掘り		9.60	0.83	8.77														3.97			1.64					1.24			2.59			4		1							
合計		9.60	0.83	8.77														3.97			1.64					1.24		2.59			4		1								

付帯工  
【Aブロック 単独】φ150







塩ビ製小型マンホール工  
【Aブロック 単独】φ150





汚水枳及び取付管工  
【Aブロック 単独】φ150



# 汚水樹及び取付管工数量計算書(Co 10-10)-1

現況Co 10cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 下層路盤 17cm 人力

路線番号	取付番号	取付管延長 m	汚水樹深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長				摘要	
									控除延長			舗装延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2228 -2	14	1.00	5.25-4.45 0.80	0.91	5.25-5.18 0.07	0.73	0.74	0.84	<small>(0.55+0.91+0.2)/2</small> 0.37	0.63			人孔接続	
2228 -2	15	1.20	5.25-4.45 0.80	0.91	5.25-5.18 0.07	0.73	0.74	0.84	<small>(0.55+0.91+0.2)/2</small> 0.37	0.83			人孔接続	
計	箇所 2	m 2.20						m 1.68	m 0.74	m 1.46	m	m		本管接続 マンホール接続 2

**汚水枘及び取付管工 土工計算書(Co 10-10)-2**

現況Co 10cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 0cm 下層路盤 17cm BH

種 別	枘設置 = 1.5 m以下				計	算	式	管 径 = φ 100	単位	数 量	備 考
平均掘削深	1.68	÷	2						m	0.84	
舗装部 掘削延長									m	0.00	
未舗装部 掘削延長	1.46	+	0.00						m	1.46	
舗装切断工	0.00	×	2						m	0.00	
舗装版破碎工 Co 10cm	0.00	×	0.500	舗装幅	0.500	=	0.500		m <sup>2</sup>	0.00	
掘削工	掘削幅 (下部)	0.50	掘削幅 (上部)	0.50 + 0.00 × (0.84 - 0.10)	=	0.500					
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅	(0.50 + 0.50) ÷ 2		=	0.500						
		0.500 × (0.84 - 0.10) × 0.00	+	0.500 × 0.84 × 1.46					m <sup>3</sup>	0.61	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部)	0.50	掘削幅 (上部)	0.50 + 0.00 × 0.300	=	0.500					
砂基礎高 0.300	平均掘削幅	(0.50 + 0.50) ÷ 2		=	0.500						
取付管延長 2.20 本管控除長 0.74		(0.500 × 0.300 - (π/4 × 0.100 <sup>2</sup> )) × (2.20 - 0.74)							m <sup>3</sup>	0.21	
埋戻工	掘削幅 (下部)	0.500	掘削幅 (上部)	0.50 + 0.00 × (0.84 - 0.20)	=	0.500					
仮舗装厚 0.03 0.00 0.17	平均掘削幅	(0.500 + 0.500) ÷ 2		=	0.500						
	平均掘削幅	(0.500 + 0.500) ÷ 2		=	0.500						
計 0.20	平均掘削深 - 砂基礎厚	0.84 - 0.300	=	0.540							
		0.500 × (0.540 - 0.20) × 0.00	+	0.500 × 0.540 × 1.46					m <sup>3</sup>	0.39	
残土処分工	0.61	-	0.39	÷	0.90				m <sup>3</sup>	0.18	
残塊処分工 Co	0.00	×	0.10						m <sup>3</sup>	0.00	
仮復旧											
仮復旧工 As 3cm	0.00	×	0.500	舗装幅	0.50 + 0.00 × 0.84	=	0.500		m <sup>2</sup>	0.00	
上層路盤		×		舗装幅		=			m <sup>2</sup>		
下層路盤 t=17cm	0.00	×	0.500	舗装幅	0.50 + 0.00 × (0.84 - 0.20)	=	0.500		m <sup>2</sup>	0.00	

積算資料／開削区間  
【Aブロック 単独】φ150



### 工程日数算出表

設計条件		検討路線	Aブロック単独φ150			
		管種管径	PRP150 mm	掘削 BH 人力 m3	3.97 m3	
素掘		施工延長	9.60 m	砂基礎 BH 人力 m3		
				人力掘削工	3.97 m3	
				砕石基礎工	1.64 m3	
				埋戻工	1.24 m3	
種別	工種	計 算 式			実日数	供用日数
a 工程	掘削				0.78	1.30
		$3.97 \text{ m}^3 \div 5.10 \text{ m}^3/\text{日} = 0.78 \text{ 日}$ $= 0.78 \text{ 日}$				
b 工程	砕石基礎工（人力投入）	$1.64 \text{ m}^3 \div 8.70 \text{ m}^3/\text{日（下水歩掛P20）} = 0.19 \text{ 日}$			0.37	0.60
	砕石基礎工（転圧作業）	$\text{タンバ締固め } 36.00 \text{ m}^3/\text{日（共通編P122）} = 36.00 \text{ m}^3/\text{日}$				
		$1.64 \text{ m}^3 \div 36.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.05 \text{ 日}$				
	管布設工	$10.00 \text{ m} \div 0.19 \text{ 人（下水歩掛参H24, P4）} = 52.63 \text{ m}/\text{日}$ $9.60 \text{ m} \div 52.63 \text{ m}/\text{日} = 0.18 \text{ 日}$				
	砕石基礎+管布設	$0.19 \text{ 日} + 0.18 \text{ 日} = 0.37 \text{ 日}$				
c 工程	埋戻工（機械投入）	$1.24 \text{ m}^3 \div 8.70 \text{ m}^3/\text{日} = 0.14 \text{ 日}$			0.14	0.20
	埋戻工（転圧作業）	$\text{タンバ締固め } 36.00 \text{ m}^3/\text{日（共通編P122）} = 36.00 \text{ m}^3/\text{日}$				
		$1.24 \text{ m}^3 \div 36.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.03 \text{ 日}$				
	埋戻工	$= 0.14 \text{ 日}$				
d 工程						

※) a 工程：掘削とする

b 工程：転圧機械（タンバ）を1台使用する。

c 工程：転圧機械（タンバ）を1台使用する。

機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。

#### 算定結果

・ 施工日数	$(1.3+0.6+0.2) =$	2.10 日	≒	3 日
・ 水替え日数	$1/2 \times 0.78 + 0.37 + 1/2 \times 0.14$	0.83 日	≒	1 日
・ 交通整理員実日数	$2.1 \div 1 =$	2.1 日	≒	3 日

管布設工  
【Fブロック 単独】φ200







付帯工  
【Fブロック 単独】φ200







塩ビ製小型マンホール工  
【Fブロック 単独】





汚水枳及び取付管工  
【Fブロック 単独】



**汚水樹及び取付管工数量計算書 (自然石 6-3-10-10) -1**

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

路線番号	取付番号	取付管延長 m	汚水樹深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長				摘要	
									控除延長			舗装延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2112	214	2.20	1.10	1.46	-0.03	1.13	1.15	1.24	0.48	1.00	0.56	0.16	本管接続	
2112	213	2.30	1.40	1.46	0.29	1.11	1.13	1.22	0.48	1.00	0.56	0.26	人孔接続	
計	箇所 2	m 4.50						m 2.46	m 0.96	m 2.00	m 1.12	m 0.42	本管接続 マンホール接続	1 1

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.13+ 2t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	2.46	÷	2			m	1.23	
舗装部 掘削延長						m	0.42	
未舗装部 掘削延長	2.00	+	1.12			m	3.12	
舗装切断工	0.42	×	2			m	0.84	
舗装版破碎工 Co 19cm	0.42	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	0.32	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.23 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (1.23 - 0.19) × 0.42 + 0.750 × 1.23 × 3.12					m <sup>3</sup>	3.21	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 4.50			(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (4.50 - 0.96)			m <sup>3</sup>	0.87	
本管控除長 0.96								
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.23 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
0.12	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
0.10	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.23 - 0.350		= 0.880					
計 0.25	0.75 × (0.880 - 0.25) × 0.42 + 0.75 × 0.880 × 3.12					m <sup>3</sup>	2.26	
残土処分工	3.21	-	2.26	÷	0.90	m <sup>3</sup>	0.70	
残塊処分工 Co	0.32	×	0.19			m <sup>3</sup>	0.06	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	0.42	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.23	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.32	
上層路盤 t=12cm	0.42	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.23 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.32	
下層路盤 t=10cm	0.42	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.23 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	0.32	

積算資料／開削区間  
【Fブロック 単独】



工程日数算出表

設計条件	工 区		Fブロック単独				
					掘削	BH 0.13 m3	
					砂基礎	BH 0.13 m3	
	管種管径	PRP200 mm			機械掘削工	19.43 m3	
	施工延長	16.50 m			砕石基礎工	4.98 m3	
				埋戻工	12.84 m3		
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	掘 削					0.44	0.70
		$19.43 \text{ m}^3 \div 44.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P16}) = 0.44 \text{ 日}$ $= 0.44 \text{ 日}$					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	$4.98 \text{ m}^3 \div 65.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P20}) = 0.08 \text{ 日}$				0.48	0.80
	砕石基礎工(転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 33.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{共通編PI-147}) = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$					
		$4.98 \text{ m}^3 \div 33.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.15 \text{ 日}$					
	管 布 設 工	$10.00 \text{ m} \div 0.20 \text{ 人} (\text{下水歩掛参H25, P4}) = 50.00 \text{ m}/\text{日}$					
$16.50 \text{ m} \div 50.00 \text{ m}/\text{日} = 0.33 \text{ 日}$							
c 工程	埋戻工 (機械投入)	$12.84 \text{ m}^3 \div 65.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{下水歩掛P20}) = 0.20 \text{ 日}$				0.39	0.70
		埋戻工 (転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 33.00 \text{ m}^3/\text{日} (\text{共通編PI-147}) = 33.00 \text{ m}^3/\text{日}$				
	$12.84 \text{ m}^3 \div 33.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.39 \text{ 日}$						
	埋戻工		$= 0.39 \text{ 日}$				
d 工程							

※) a 工程 : 掘削とする

b 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

c 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。

機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。

算定結果

・ 施工日数	$(0.7+0.8+0.7) =$	2.20 日	≒	3 日
・ 水替え日数	$1/2 \times 0.44 + 0.48 + 1/2 \times 0.39$	0.9 日	≒	1 日
・ 交通整理員実日数	$2.2 \div 1 =$	2.2 日	≒	3 日

管布設工  
【Gブロック 単独】









付帯工  
【Gブロック 単独】









塩ビ製小型マンホール工  
【Gブロック 単独】





汚水枳及び取付管工  
【Gブロック 単独】

汚水樹及び取付管工数量集計表

種 別	単位	自然石 6-3-10-10	黒いカ 6-3-10-10	As 5-10-10	Co 10-10	As 4-7-11	As 3-10				合 計	備 考	
		BH0. 28 +4t	BH0. 28 +4t	BH0. 08 +2t	人力 +小車	人力 +小車	BH0. 13 +2t						
汚水樹設置工	汚 水 樹	φ200-150×150	個	4			8				12	樹深 1.50m以下	
取付管工	布設延長	φ150	m	14.30			15.70				30.00	(平均) 2.50m	
	接続方法	マンホール接続(3.0m未満)	個				3					3	
		マンホール接続(3m以上5m未満)	個				1					1	
		マンホール接続(5m以上12m未満)	個										
		本管接続(3.0m未満)	個				4					4	
		本管接続(3m以上5m未満)	個	4								4	
		本管接続(5m以上12m未満)	個										
砂基礎工			m3	3.01			3.02				6.03		
舗装撤去工	舗装切断工	As 15cm以下	m										
		Co 15cm以下	m				8.20				8.20		
		Co 15cmを越え30cm以下	m	11.56								11.56	
舗装版破碎工 直接掘削積込工		黒いカ 6-3-10	m2										
		自然石 6-3-10	m2	4.34								4.34	
		As t=5cm	m2										
		Co t=10cm	m2				3.08					3.08	
		As t=10cm	m2										
	As t=4cm	m2											
土 工	掘削工		m3	15.04			6.91				21.95		
	埋戻工	発生土	m3	11.55			3.36				14.91		
	残土処分工		m3	2.21			3.18				5.39		
	残塊処分工	As	m3										
Co		m3	0.82				0.31				1.13		
仮復旧工	表層工	密粒度アスコン t=5cm	m2										
	表層工	密粒度アスコン t=3cm	m2	4.34			3.08				7.42		
路盤	上層路盤	粒調碎石(M-30) t=12cm	m2	4.34							4.34		
	下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-30) t=10cm	m2	4.34							4.34		
	下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-30) t=17cm	m2				3.08				3.08		

**汚水樹及び取付管工数量計算書 (自然石 6-3-10-10) -1**

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.28+ 4t

路線番号	取付番号	取付管延長 m	汚水樹深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長				摘要	
									控除延長			舗装延長 m		
									本管部 m	宅地部 m	水路等 m			
2120	245	3.10	1.80	2.18	-0.02	1.82	1.85	1.94	0.50	1.00	0.56	1.04	本管接続	
2120	244	4.00	1.40	2.18		1.40	1.44	1.52	0.50	1.00	0.70	1.80	本管接続	
2120	243	3.20	1.80	2.18	-0.01	1.81	1.84	1.93	0.50	1.00	0.56	1.14	本管接続	
2120	242	4.00	1.20	2.18	-0.18	1.38	1.42	1.50	0.50	1.00	0.70	1.80	本管接続	
計	箇所 4	m 14.30						m 6.89	m 2.00	m 4.00	m 2.52	m 5.78	本管接続 マンホール接続	4

汚水樹及び取付管工 土工計算書 (自然石 6-3-10-10) -2

現況石 19cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 12cm 下層路盤 10cm BH 0.28+ 4t

種 別	樹設置 = 1.5 m以下	計	算	式	管 径 = φ150	単位	数 量	備 考
平均掘削深	6.89	÷	4			m	1.72	
舗装部 掘削延長						m	5.78	
未舗装部 掘削延長	4.00	+	2.52			m	6.52	
舗装切断工	5.78	×	2			m	11.56	
舗装版破碎工 Co 19cm	5.78	×	0.750	舗装幅 = 0.750		m <sup>2</sup>	4.34	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.72 - 0.19)	= 0.75				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
	0.750 × (1.72 - 0.19) × 5.78 + 0.750 × 1.72 × 6.52					m <sup>3</sup>	15.04	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350	= 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.75					
取付管延長 14.30 本管控除長 2.00	(0.75 × 0.350 - (π/4 × 0.15 <sup>2</sup> )) × (14.30 - 2.00)					m <sup>3</sup>	3.01	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (1.72 - 0.25)	= 0.75				
仮舗装厚 0.03 0.12 0.10	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2		= 0.750					
計 0.25	平均掘削深 - 砂基礎厚 1.72 - 0.350		= 1.370					
	0.75 × (1.370 - 0.25) × 5.78 + 0.75 × 1.370 × 6.52					m <sup>3</sup>	11.55	
残土処分工	15.04	-	11.55	÷	0.90	m <sup>3</sup>	2.21	
残塊処分工 Co	4.34	×	0.19			m <sup>3</sup>	0.82	
仮復旧								
仮復旧工 As 3cm	5.78	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × 1.72	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.34	
上層路盤 t=12cm	5.78	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.72 - 0.15)	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.34	
下層路盤 t=10cm	5.78	×	0.75	舗装幅 0.75 + 0.00 × (1.72 - 0.25)	= 0.75	m <sup>2</sup>	4.34	

**汚水樹及び取付管工数量計算書(Co 10-10)-1**

路線番号	取付番号	現況Co 10cm		仮復旧As 3cm		上層路盤			下層路盤 17cm			人力+ 小車	摘要	
		取付管延長 m	汚水樹深 m	本管平均掘削深 m	境界高低差 m	境界土工高 m	本管流入高 m	平均掘削深 m	舗装延長					
									控除延長					舗装延長 m
								本管部 m	宅地部 m	水路等 m				
2123	263	0.70	0.80	1.25	0.09	0.71	0.72	0.82	0.43	0.27		0.00	本管接続	
2123	262	1.80	1.00	1.25	0.23	0.77	0.79	0.88	0.43	1.00	0.37	0.00	本管接続	
2123	261	2.10	0.80	1.25	0.19	0.61	0.63	0.72	0.43	1.00		0.67	人孔接続	
2123	260	3.20	1.20	1.25	0.52	0.68	0.71	0.80	0.43	1.00	0.60	1.17	人孔接続	
2121 -2	254	1.60	0.80	1.10	0.21	0.59	0.61	0.70	0.41	1.00		0.19	本管接続	
2121 -2	253	1.60	0.80	1.10	0.30	0.50	0.52	0.61	0.41	1.00		0.19	本管接続	
2121 -2	252 -2	2.20	0.80	1.10	0.05	0.75	0.77	0.86	0.41	1.00		0.79	人孔接続	
2121 -2	252 -1	2.50	0.80	1.10	0.05	0.75	0.78	0.87	0.41	1.00		1.09	人孔接続	
計	箇所 8	m 15.70						m 6.26	m 3.36	m 7.27	m 0.97	m 4.10	本管接続 マンホール接続	4 4

**汚水柵及び取付管工 土工計算書(Co 10-10)-2**

現況Co 10cm 仮復旧As 3cm 上層路盤 0cm 下層路盤 17cm 人力+ 小車

種 別	柵設置 = 1.5 m以下 計 算 式 管 径 = φ150				単位	数 量	備 考
平均掘削深	6.26	÷	8		m	0.78	
舗装部 掘削延長					m	4.10	
未舗装部 掘削延長	7.27	+	0.97		m	8.24	
舗装切断工	4.10	×	2		m	8.20	
舗装版破碎工 Co 10cm	4.10	×	0.750	舗装幅 0.75 + 0.00 × 0.78 = 0.750	m <sup>2</sup>	3.08	
掘削工	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (0.78 - 0.10) = 0.750				
掘削勾配 0.00 ※両側	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2 = 0.750						
	0.750 × (0.78 - 0.10) × 4.10 + 0.750 × 0.78 × 8.24				m <sup>3</sup>	6.91	
埋戻工 (砂基礎)	掘削幅 (下部) 0.75		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × 0.350 = 0.750				
砂基礎高 0.350	平均掘削幅 (0.75 + 0.75) ÷ 2 = 0.750						
取付管延長 15.70 本管控除長 3.36	(0.750 × 0.350 - (π/4 × 0.150 <sup>2</sup> )) × (15.70 - 3.36)				m <sup>3</sup>	3.02	
埋戻工	掘削幅 (下部) 0.750		掘削幅 (上部) 0.75 + 0.00 × (0.78 - 0.20) = 0.750				
仮舗装厚 0.03	平均掘削幅 (0.750 + 0.750) ÷ 2 = 0.750						
0.00	平均掘削幅 (0.750 + 0.750) ÷ 2 = 0.750						
0.17	平均掘削幅 (0.750 + 0.750) ÷ 2 = 0.750						
計 0.20	平均掘削深 - 砂基礎厚 0.78 - 0.350 = 0.430						
	0.750 × (0.430 - 0.20) × 4.10 + 0.750 × 0.430 × 8.24				m <sup>3</sup>	3.36	
残土処分工	6.91	-	3.36	÷ 0.90	m <sup>3</sup>	3.18	
残塊処分工 Co	3.08	×	0.10		m <sup>3</sup>	0.31	
仮復旧							
仮復旧工 As 3cm	4.10	×	0.750	舗装幅 0.75 + 0.00 × 0.78 = 0.750	m <sup>2</sup>	3.08	
上層路盤		×		舗装幅 ) =	m <sup>2</sup>		
下層路盤 t=17cm	4.10	×	0.750	舗装幅 0.75 + 0.00 × (0.78 - 0.20) = 0.750	m <sup>2</sup>	3.08	

積算資料／開削区間  
【Gブロック 単独】



### 工程日数算出表

設計条件		工 区		Gブロック単独			
		軽量鋼矢板	2.5 mH	掘削	BH 0.28 m3		
		支保工	2 段	砂基礎	BH 0.28 m3		
		管種管径	PRP200 mm	機械掘削工	83.74 m3		
		施工延長	42.00 m	砕石基礎工	15.29 m3		
		転用スパン	30.00 m	埋戻工	64.42 m3		
種 別	工 種	計 算 式				実日数	供用日数
a 工程	軽量鋼矢板土留工 (建込)	100.00 m ÷ 2.40 日 (下水歩掛P41) = 41.67 m/日				2.09	3.60
		30.00 m ÷ 41.67 m/日 = 0.72 日					
	支保工 (設置)	100.00 m ÷ 1.20 日 (下水歩掛P50) = 83.33 m/日					
		30.00 ÷ 83.33 m/日 = 0.36 日					
掘 削	83.74 m <sup>3</sup> ÷ 42.00 m × 30.00 m = 59.81 m <sup>3</sup>						
	59.81 m <sup>3</sup> ÷ 59.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P16) = 1.01 日						
土留工+掘削		= 2.09 日					
b 工程	砕石基礎工(機械投入)	15.29 m <sup>3</sup> ÷ 42.00 m × 30.00 m = 10.92 m <sup>3</sup>				0.77	1.30
		10.92 m <sup>3</sup> ÷ 85.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.13 日					
	砕石基礎工(転圧作業)	タンバ縮固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		15.29 m <sup>3</sup> ÷ 42.00 m × 30.00 m = 10.92 m <sup>3</sup>					
管 布 設 工	10.92 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.17 日						
	10.00 m ÷ 0.20 人 (下水歩掛H25, P4) = 50.00 m/日						
砕石基礎+管布設		30.00 m ÷ 50.00 m/日 = 0.60 日					
砕石基礎+管布設		0.17 日 + 0.60 日 = 0.77 日					
c 工程	埋戻工 (機械投入)	64.42 m <sup>3</sup> ÷ 42.00 m × 30.00 m = 46.01 m <sup>3</sup>				0.70	1.20
		46.01 m <sup>3</sup> ÷ 85.00 m <sup>3</sup> /日 (下水歩掛P20) = 0.54 日					
	埋戻工 (転圧作業)	タンバ縮固め 33.00 m <sup>3</sup> /日 (共通編PI-147) = 33.00 m <sup>3</sup> /日					
		64.42 m <sup>3</sup> ÷ 42.00 m × 30.00 m = 46.01 m <sup>3</sup>					
埋戻工		46.01 m <sup>3</sup> ÷ ( 33.00 m <sup>3</sup> /日 × 2.00 台) = 0.70 日					
埋戻工		= 0.70 日					
d 工程	軽量鋼矢板土留工 (引抜)	100.00 m ÷ 0.90 日 (下水歩掛P41) = 111.11 m/日				0.57	1.00
		30.00 m ÷ 111.11 m/日 = 0.27 日					
	支保工 (撤去)	100.00 m ÷ 1.00 日 (下水歩掛P51) = 100.00 m/日					
		30.00 ÷ 100.00 m/日 = 0.30 日					
土留工+掘削		= 0.57 日					

- ※) a 工程：土留工+掘削とする  
 b 工程：転圧機械(タンバ)を2台使用する。  
 c 工程：転圧機械(タンバ)を2台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。  
 d 工程：c 工程と同時に終了する。

#### 算定結果

・ 土留転用回数	42m ÷ 30m =	1.4 回	≒	2 回
・ 土留賃料日数(30m)	(3.6+1/2×1.3+1) =	5.25 日		
・ 土留供用日数	1.4×5.25 =	7.4 日	≒	8 日
・ 水替え日数	(2.09+max(0.7, 0.57))/2 =	1.4 日	× 1.4回 =	2.0 日 ≒ 2日
・ 交通整理員実日数	7.4 ÷ 1 =	7.4 日	≒	8 日

工程日数算出表

設計条件 素掘	検討路線		Gブロック単独				種別	工種	計 算 式	実日数	供用日数
					掘削	BH 人力 m3					
					砂基礎	BH 人力 m3					
	管種管径	PRP200 mm			機械掘削工	25.76 m3					
	施工延長	32.90 m			砕石基礎工	7.18 m3					
				埋戻工	14.67 m3						
a 工程	掘削	$25.76 \text{ m}^3 \div 5.10 \text{ m}^3/\text{日} = 5.05 \text{ 日}$ $= 5.05 \text{ 日}$				5.05	8.60				
b 工程	砕石基礎工 (人力投入)	$7.18 \text{ m}^3 \div 8.70 \text{ m}^3/\text{日 (下水歩掛P20)} = 0.83 \text{ 日}$				1.49	2.50				
	砕石基礎工 (転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 36.00 \text{ m}^3/\text{日 (共通編P122)} = 36.00 \text{ m}^3/\text{日}$									
		$7.18 \text{ m}^3 \div 36.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.20 \text{ 日}$									
	管 布 設 工	$10.00 \text{ m} \div 0.20 \text{ 人 (下水歩掛参H24, P4)} = 50.00 \text{ m}/\text{日}$ $32.90 \text{ m} \div 50.00 \text{ m}/\text{日} = 0.66 \text{ 日}$									
c 工程	埋戻工 (機械投入)	$14.67 \text{ m}^3 \div 8.70 \text{ m}^3/\text{日} = 1.69 \text{ 日}$				1.69	2.90				
	埋戻工 (転圧作業)	$\text{タンバ締固め } 36.00 \text{ m}^3/\text{日 (共通編P122)} = 36.00 \text{ m}^3/\text{日}$									
	埋戻工	$14.67 \text{ m}^3 \div 36.00 \text{ m}^3/\text{日} = 0.41 \text{ 日}$ $= 1.69 \text{ 日}$									
d 工程											

- ※) a 工程 : 掘削とする  
 b 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。  
 c 工程 : 転圧機械 (タンバ) を1台使用する。  
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。

算定結果

・ 施工日数	$(8.6+2.5+2.9) =$	14.00 日	≒	14 日
・ 水替え日数	$1/2 \times 5.05 + 1.49 + 1/2 \times 1.69$	4.86 日	≒	5 日
・ 交通整理員実日数	$14 \div 1 =$	14 日	≒	14 日





# 鋼材運搬算定表

(補助)

	仮設リース材		備考
	往路(t)	復路(t)	
軽量鋼矢板(l=2.0)	4.013	4.013	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=2.5)	8.629	8.629	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=3.0)			軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=4.5)			軽量鋼矢板 損料計算書
軽量金属支保(1段支保)	0.585	0.585	軽量金属支保 損料算定
軽量金属支保(2段支保)	0.61	0.610	軽量金属支保 損料算定
計	13.837	13.837	
合計	往復路計 13.8 t		

# 鋼材運搬算定表

(単独)

	仮設リース材		備 考
	往路(t)	復路(t)	
軽量鋼矢板(l=2.0)	0.610	0.610	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=2.5)	2.912	2.912	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=3.0)			軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=4.5)			軽量鋼矢板 損料計算書
軽量金属支保(1段支保)	0.029	0.029	軽量金属支保 損料算定
軽量金属支保(2段支保)	0.619	0.619	軽量金属支保 損料算定
計	4.17	4.17	
合 計	往復路計 4.2 t		

軽量鋼矢板損料計算書 1

軽量鋼矢板長さ	L=2.0m			
補助延長=	144.70m	1回当り使用延長=	27.78m	
単独延長=	22.00m	転用回数=	6回	
全体延長=	166.70m			
1回当りの重量=	$(27.78\text{m} \div 0.25) \times 2 \times 2.0\text{m} \times 10.4 \text{ kg/m}$		=	4623kg 4.623 t
全体矢板損料=	4.623 t	×	28日	× 132円/ t = 17,086 円
補助矢板損料=	17,086	×	$(144.70\text{m} \div 166.70\text{m})$	= 14,831 円
単独矢板損料=	17,086	-	14,831	= 2,255 円
全体矢板修理損耗費=	4.623 t	×	$\{1/2 \times (6\text{回} + 1)\}$	× 5750円/ t = 93,037 円
補助修理損耗費=	93,037	×	$(144.70\text{m} \div 166.70\text{m})$	= 80,758 円
単独修理損耗費=	93,037	-	80,758	= 12,279 円
全体矢板運搬重量=	4.623 t			
補助運搬重量=	4.623 t	×	$(144.70\text{m} \div 166.70\text{m})$	= 4.013 t
単独運搬重量=	4.623 t	-	4.013	= 0.610 t

軽量鋼矢板損料計算書 2

軽量鋼矢板長さ L=2.5m 1段					
補助延長=	304.20m	1回当り使用延長=	27.65m		
単独延長=		転用回数=	11回		
全体延長=	304.20m				
1回当りの重量=	( 27.65m ÷ 0.25 ) × 2 ×	2.5m	× 10.4 kg/m =	5752kg	
			=	5.752 t	
全体矢板損料=	5.752 t	×	49日	×	132円/ t = 37,203 円
補助矢板損料=	37,203	× (	304.20m ÷	304.20m ) =	37,203 円
単独矢板損料=	37,203	-	37,203	=	円
全体矢板修理損耗費=	5.752 t	× {1/2 × (	11回 + 1)}	×	5750円/ t = 198,444 円
補助修理損耗費=	198,444	× (	304.20m ÷	304.20m ) =	198,444 円
単独修理損耗費=	198,444	-	198,444	=	円
全体矢板運搬重量=	5.752 t				
補助運搬重量=	5.752 t	× (	304.20m ÷	304.20m ) =	5.752 t
単独運搬重量=	5.752 t	-	5.752	=	t
軽量鋼矢板長さ L=2.5m 2段					
補助延長=	41.50m	1回当り使用延長=	27.83m		
単独延長=	42.00m	転用回数=	3回		
全体延長=	83.50m				
1回当りの重量=	( 27.83m ÷ 0.25 ) × 2 ×	2.5m	× 10.4 kg/m =	5789kg	
			=	5.789 t	
全体矢板損料=	5.789 t	×	16日	×	132円/ t = 12,226 円
補助矢板損料=	12,226	× (	41.50m ÷	83.50m ) =	6,076 円
単独矢板損料=	12,226	-	6,076	=	6,150 円
全体矢板修理損耗費=	5.789 t	× {1/2 × (	3回 + 1)}	×	5750円/ t = 66,573 円
補助修理損耗費=	66,573	× (	41.50m ÷	83.50m ) =	33,087 円
単独修理損耗費=	66,573	-	33,087	=	33,486 円
全体矢板運搬重量=	5.789 t				
補助運搬重量=	5.789 t	× (	41.50m ÷	83.50m ) =	2.877 t
単独運搬重量=	5.789 t	-	2.877	=	2.912 t

# 軽量金属支保材損料算定 1段支保

(参考)

腹起し 110×130  
水圧サポート 70タイプ

矢板長

2.0~2.5 m

1. アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は  
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数

2. 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は  
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料  
1日1本当り賃料(4m/本)  
基本料

・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料  
1日1本当り賃料  
基本料

・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料  
1日1本当り賃料  
基本料

2026	P.819	P.297	
建設物価	積算資料	平均価格	
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.0m	2.5m	
1ブロック延長	27.78m	27.65m	
支保工本数	14本	14本	0本
供用日数	28日	49日	

全体賃料  
アルミ製腹起し =  $68円 \times (14本 \times 28日 + 14本 \times 49日 + 0本 \times 日)$  = 73,304 円  
水圧式サポート =  $110円 \times (14本 \times 28日 + 14本 \times 49日 + 0本 \times 日)$  = 118,580 円  
水圧ポンプ =  $154円 \times (28日 + 49日 + 日)$  = 11,858 円

基本料  
アルミ製腹起し =  $14本 \times 1段 \times 500円$  = 7,000円  
水圧式サポート =  $14本 \times 1段 \times 500円$  = 7,000円  
水圧ポンプ =  $500円$  = 500円

合計 14,500円

全体延長 = 470.90 m  
補助延長 = 448.90 m

補助賃料(腹起し) =  $73,304円 \times (448.90 \div 470.90) = 69,879 円$   
単独賃料(腹起し) =  $73,304円 - 69,879円 = 3,425 円$

補助賃料(水圧サポート) =  $118,580円 \times (448.90 \div 470.9) = 113,040 円$   
単独賃料(水圧サポート) =  $118,580円 - 113,040円 = 5,540 円$

補助賃料(水圧ポンプ) =  $11,858円 \times (448.90 \div 470.9) = 11,304 円$   
単独賃料(水圧ポンプ) =  $11,858円 - 11,304円 = 554 円$

補助基本料 =  $14,500円 \times (448.90 \div 470.9) = 13,822 円$   
単独基本料 =  $14,500円 - 13,822円 = 678 円$

運搬重量  
腹起し材 =  $14本 \times 38.6kg/本 = 540 kg$   
サポート材 =  $14本 \times 5.3kg/本 = 74 kg$   
重量合計 = 614 kg

補助運搬 =  $614kg \times (448.90 \div 470.90) = 585kg$   
単独運搬 =  $614kg - 585kg = 29kg$

# 軽量金属支保材損料算定 2段支保

(参考)

腹起し 110×130  
水圧サポート 70タイプ

矢板長

2.5~3.0 m

1. アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は  
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数

2. 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は  
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料  
1日1本当り賃料(4m/本)  
基本料

・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料  
1日1本当り賃料  
基本料

・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料  
1日1本当り賃料  
基本料

	2026	P.819	P.297
	建設物価	積算資料	平均価格
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.5m	3.0m	4.5m
1ブロック延長	27.83m		
支保工本数	28本	0本	0本
供用日数	16日		

全体賃料  
アルミ製腹起し =  $68円 \times (28本 \times 16日 + 0本 \times 日 + 0本 \times 日)$  = 30,464 円  
水圧式サポート =  $110円 \times (28本 \times 16日 + 0本 \times 日 + 0本 \times 日)$  = 49,280 円  
水圧ポンプ =  $154円 \times (16日 + 日 + 日)$  = 2,464 円

基本料  
アルミ製腹起し =  $28本 \times 2段 \times 500円$  = 28,000円  
水圧式サポート =  $28本 \times 2段 \times 500円$  = 28,000円  
水圧ポンプ =  $500円$  = 500円

合計 56,500円

全体延長 = 83.50 m  
補助延長 = 41.50 m

補助賃料(腹起し) =  $30,464円 \times (41.50 \div 83.50)$  = 15,140 円  
単独賃料(腹起し) = 30,464円 - 15,140円 = 15,324 円

補助賃料(水圧サポート) =  $49,280円 \times (41.50 \div 83.50)$  = 24,492 円  
単独賃料(水圧サポート) = 49,280円 - 24,492円 = 24,788 円

補助賃料(水圧ポンプ) =  $2,464円 \times (41.50 \div 83.50)$  = 1,224 円  
単独賃料(水圧ポンプ) = 2,464円 - 1,224円 = 1,240 円

補助基本料 =  $56,500円 \times (41.50 \div 83.50)$  = 28,080 円  
単独基本料 = 56,500円 - 28,080円 = 28,420 円

運搬重量 腹起し材 = 28本 × 38.6kg/本 = 1081 kg  
サポート材 = 28本 × 5.3kg/本 = 148 kg

重量合計 1229 kg

補助運搬 =  $1229kg \times (41.50 \div 83.50)$  = 610kg  
単独運搬 = 1229kg - 610kg = 619kg

試験堀

	入 力 自 動 計 算												
	W	L	H	舗装切 断	舗装版 破碎	Co殻運 搬	Co殻処 分	掘削	埋戻	不足土	下層路 盤 (t=10c m)	上層路 盤 (t=12c m)	表層 (t=3cm)
算出式				$(W+L)*2$	$W*L$	$W*L*0.2$ 9	$W*L*0.2$ 9*2.35	$W*L*(H$ -0.29)	$W*L*(H$ -0.25)	掘削-埋 戻/0.9	W*L	W*L	W*L
単位	m	m	m	m	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	t	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
A-M-5	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
A-M-8	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
A-M-13	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
B-M-2	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
B-M-8	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
F-M-3	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
F-M-5	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
G-M-5	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
G-M-7	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
G-M-8	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
G-M-9	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
G-M-12	1.5	1.5	1.5	6	2	0.7	1.5	3	3	-0.4	2	2	2
合計				72	27	7.8	18.4	33	34	-4.8	27	27	27

-5.8 (ほぐし土量)

# 見積等積算参考資料

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価
F0000000026	本管テレビカメラ搭載車損料 直視側視式 小中口径管	時間	15,112
F0000000051	借地料 47,900 (円/m <sup>2</sup> ) × 0.06 × 8/12 × 200 (m <sup>2</sup> )	式	383,200
F0000000054	鋳鉄製マンホール蓋 Φ300 T-14	組	50,600
F0000000057	異径ソケット Φ200-Φ150	個	8,000
F0000000058	転落防止はしご Φ600用	個	23,800
F0000000060	鋳鉄製マンホール蓋 Φ300 T-8	組	37,400
F0000000061	硬質塩化ビニル製ふた Φ300	組	6,350
F0000000063	自在曲管 Φ200×0°	個	18,100
F0000000064	塩ビ人孔用支管 Φ200	個	23,070